

# 御坂中学校校舎解体工事(2期)

建築意匠			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
－	表紙・図面リスト	D II 17	既存校舎 3F平面詳細図-2（参考）
D II 01	特記仕様書-1	D II 18	既存校舎 4F平面詳細図-1（参考）
D II 02	特記仕様書-2	D II 19	既存校舎 4F平面詳細図-2（参考）
D II 03	案内図・配置図	D II 20	既存校舎 基礎・各階伏図（参考）
D II 04	既存校舎 外構解体範囲	D II 21	既存校舎 軸組図1（参考）
D II 05	既存校舎 1F・2F平面図	D II 22	既存校舎 軸組図2（参考）
D II 06	既存校舎 3F・4F平面図	D II 23	既存校舎 軸組図3（参考）
D II 07	既存校舎 RF平面図・浄化槽詳細図	D II 24	既存校舎 鉄骨ブレース詳細図1（参考）
D II 08	既存校舎 仕上表（参考）	D II 25	既存校舎 鉄骨ブレース詳細図2（参考）
D II 09	既存校舎 立面図（参考）	D II 26	既存校舎 RC補強壁詳細図（参考）
D II 10	既存校舎 矩計図1（参考）	D II 27	既存校舎 EXP詳細図（参考）
D II 11	既存校舎 矩計図2（参考）	D II 28	既存校舎 雑詳細図（参考）
D II 12	既存校舎 1F平面詳細図-1（参考）	D II 29	既存校舎 柔剣道所用接続渡り廊下
D II 13	既存校舎 1F平面詳細図-2（参考）	D II 30	既存校舎 1・2F電気設備器具撤去図
D II 14	既存校舎 2F平面詳細図-1（参考）	D II 31	既存校舎 3・4F電気設備器具撤去図
D II 15	既存校舎 2F平面詳細図-2（参考）	D II 32	既存校舎 RF電気設備器具撤去図
D II 16	既存校舎 3F平面詳細図-1（参考）	D II 33	既存校舎 外構 電気設備器具撤去図

表紙共 34枚



特 記 仕 様 書			
1. 工 事 概 要			
1 工事名称	御坂中学校校舎解体工事(2期)		
2 工 事 場 所	山梨県笛吹市御坂町下野原1257番地 御坂中学校		
3 用途地域等	都市計画区域(〔内〕・外) 用途地域( ) 防火地域等(・防火・準防火 指定なし・22条 ) その他の地域・地区( )		
4 主 要 用 途	中学校		
5 敷 地 面 積	20,833.41㎡(除却面積19.41㎡) 合計20852.83㎡		
6 工事の概要	建 物 校 舎	構 造 RC造	規 模 地上4階  延床面積 解体する校舎の面積3,944.39㎡のうち 2,180.00㎡を解体
	受水槽ポンプ室	S造	地上1階 12.18㎡
	駐輪場	S造	地上1階 102.17㎡
	渡り廊下	S造	
7 別 途 工 事	計4棟 他附属建物、工作物の解体		
8 そ の 他			
9 特記仕様書の範囲	特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もで構成する。 ・外構工事特記仕様書                      ・植栽工事特記仕様書 ・電気設備工事特記仕様書                ・機械設備工事特記仕様書 ・		

## Ⅱ. 建築工事仕様

### 1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)・同解説(令和2年度版)」(以下、「**解体共通仕様書**」という。)による。ただし、「**解体共通仕様書**」に記載されていない事項は、「**公共建築工事標準仕様書(平成31年版)**」(以下「**標準仕様書**」という。)及び「**公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)**」(以下「**改修標準仕様書**」という。)による。

なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

### 2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。  
○印と※印のついた場合は、共に適用する。
- 3) 特記事項に記載の[ ]、( )、及び< >内の表示番号は、それぞれ「**解体共通仕様書**」及び「**標準仕様書**」及び「**改修標準仕様書**」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項目

特記事項

1章  
各章共通事項

①一般事項

○工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。

○請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。

○工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤・擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。  
調査範囲 ※図示

②適用基準等

・建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)・同解説(令和2年度版)

・公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)

・公共建築改修工事標準仕様書(平成31年度版)

③工事実績情報  
(CORINS)の登録

※適用する <1.1.4>  
受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、登録されたことを証明する資料を、監督職員に提出すること。

・適用しない

4. 電気保安技術者

※適用する ・適用しない <1.3.3>

⑤事故報告

工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

6. 完成図等

※完成図(施工図、施工計画書を除く)  
※完成図CADデータ(MO又はCD-R)  
※施工図、及び施工計画書  
※ 保全に関する資料(提出部数 ・ 1部 ・ 2部)

7. 完成写真

※作成する  
次のものを監督職員に提出する。

分類	規格	撮影箇所数	部数	原板の大きさ
※カラー ・ 白黒	※A4B3 裱版 ・ 全紙A3 裱	・ 箇所 枚	※部 ・ 部	※100×125以上

・ 作成しない

⑧火災保険等

工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。

保険の種類 ※火災保険 ※建設工事保険 ・

保険期間 ※工期に14日以上の日を加えた日まで ・

<p>2章 仮設工事</p> <p>① 仮囲い</p>	<p>※ 設ける (位置、延長等は図示)</p> <p>⊗ 万能鋼板 (H=3.0 )      ・ 波形鉄板 (H= )</p> <p>⊗ 単管シート (H= )      ※ 防音シート (H=建物高さ+2m)</p> <p>※ 防音パネル (H= )</p> <p>※ パネルゲート (W= ) H= ) × 箇所</p> <p>※ シートゲート (W= ) H= ) × 箇所</p> <p>・ 設けない</p>
<p>② 騒音、防塵等の対策</p>	<p>※設ける (適用範囲、高さ等は図示)</p> <p>・ 防音パネル      ○防音シート (防災処理)</p> <p>・ 設けない</p>
<p>③ 交通誘導員</p> <p>4. 監督職員事務所</p>	<p>○配置する ( 75日 × 3人 = 225人日)</p> <p>・ 配置しない</p> <p>※ 設ける</p> <p>・ 既存建物内の一部を使用する。</p> <p>・ 構内に新設する (規模      m<sup>2</sup>程度)</p> <p>・ 備え付ける備品 (机、椅子、書棚、黒板、掛時計、懐中電灯)</p> <p>・ 設けない</p>
<p>⑤ 工事表示板</p>	<p>※工事表示板      枚</p> <p>※ 建設リサイクル法による標識を設置する。</p>
<p>⑥ 工事用水</p>	<p>構内既存の施設 ○利用できる (○有償 ・ 無償)</p> <p>※ 利用できない</p>
<p>⑦ 工事用電力</p>	<p>構内既存の施設 ・ 利用できる ( ・ 有償 ・ 無償)</p> <p>※ 利用できない</p>
<p>⑧ 工事用通路</p>	<p>※指定しない      ○指定する (図示)</p>
<p>⑨ 足場その他</p>	<p>内部足場      ○脚立、足場板等      ・      &lt;2.2.1&gt;</p> <p>外部足場      ※A種      ※B種      ・ C種      ・ D種</p> <p>防護シート      ※設ける      (○防音シート      ・ その他)</p> <p>・ 設けない</p> <p>材料の運搬      ・ A種      ※B種      ・ C種</p> <p>※D種      ・ E種</p> <p>枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月改正)」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。</p>
<p>⑩ その他</p>	<p>※酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施設できる小屋等に保管すること。</p> <p>※ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。</p> <p>※建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。</p> <p>※工事に関係部分の出入の表示を行うこと。</p>

<div>3章</div> <div>解体施工</div>	<div>①解体工法</div> <div>※解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。</div> <div>※解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準(建設リサイクル法規則第2条)」による。</div>
<div>②施工計画書等</div>	<div>[3.1.3]</div> <div>工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。</div>
<div>3. 杭</div>	<div>杭の解体</div> <div>・ 行う</div> <div>・ 行わない</div> <div>[3.9.2]</div>
<div>④樹木等</div>	<div>杭の解体工法</div> <div>・ 引き抜き工法 (・ 振動      ・ ケーシング      ・ )</div> <div>・ 粉砕による解体</div>
<div>⑤地下埋設物の埋設配管</div>	<div>樹木の伐採伐根及び移植</div> <div>○行う (      /      DⅡ04図による)</div> <div>地下埋設物及び埋設配管の解体</div> <div>○行う ※基礎解体に係る部分のみ</div> <div>[3.12.1]</div>
<div>⑥解体後の整地</div>	<div>解体後の埋戻し及び盛り土</div> <div>○行う</div> <div>埋戻し及び盛土の材料</div> <div>・ A種      ※B種      ・ C種      ・ D種</div> <div>C種の場合</div> <div>建設発生土受入れ量      m<sup>3</sup></div> <div>発生場所</div> <div>受入条件</div> <div>・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を使用する</div> <div>埋戻し範囲      ・ 既存建物撤去範囲      ・</div> <div>整地の高さ      ※現状GL</div> <div>・ 図示      /      図による)</div> <div>[3.13.1]</div>
	<div>○解体後の敷地は地均し等を行う</div>

4章建設廃棄物の処理

①再資源化等

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地(km)	
※コンクリート			
※コンクリート及び鉄から成る建設資材			
※アスファルト、コンクリート			
※金属類			
※小型二次電池			

[4. 4. 1(3)]

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地(km)
○蛍光灯ランプ	・する		
HIDランプ	○しない		
○硬質塩化ビニル管・継手	・する		
	・しない		
	・する		
	○しない		

現場利用する再資源化された建設廃棄物

[4. 4. 1(6)]

種類	利用する場所(箇所)等
コンクリート塊	埋め戻し

[4. 4. 2]

種類	所在地等(km)

[4. 4. 3]

・(安定型)

種類	受入施設名称等	所在地(km)	備考

・(管理型) (遮断型)

種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考

1～3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。  
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

[4. 5. 1]

種類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考
・CCA処理木材			
・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード			

5章特別管理産業廃棄物の処分等

1. 施工調査

[5. 1. 2]

材料名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲
石膏ボード等 (72×60スト含有成形板)		・図示 ※工事対象範囲

2. 特別管理産業廃棄物等の処理及び回収計画

[5. 1. 3][1. 2. 2(1)]

※種類別に具体的な処理、回収計画を定め施工計画書に記載する。

特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)
・廃石綿		

3. PCBを含む機器類等

PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器

※有(数量： )

[5. 4. 1(2)]

・無

PCB含有シーリング材

・有( )

[5. 4. 1(3)]

・無

PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

[7. 1. 1～7. 3. 1]

回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
○フロン	エアコン		
・ハロン			
・イオン化式感知器			
・六フッ化硫黄(SF6)ガス			

①一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年4月厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。)、大気汚染防止法(昭和43年法律第97号、以下「大防法」という。)を遵守すること。

施工調査[6.1.1～6.1.4] <9.1.1～9.1.2>  
※行う《調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。  
調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。》  

調査箇所  
※図示・( )  
  
調査事項  
※アスベスト含有建材等の使用部位  
※アスベスト含有建材等の種類、厚さ  
※施工範囲と工事範囲区分  
※廃棄物などの撤出方法  
・  
  
○行わない。(設計時に分析調査済み)

  
アスベスト含有分析[6.1.3]  
・行う(分析結果は監督職員に提出する。)  
分析方法 ※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。  

材 料 名	定性分析	定量分析
	・(試料数： )	・(試料数： )
	・(試料数： )	・(試料数： )
	・(試料数： )	・(試料数： )
	・(試料数： )	・(試料数： )

  
※行わない  
  
アスベスト粉じん濃度測定[6.1.4]  
※行う(測定する時期・場所等は下表による)  
「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第一部－  
：光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。  

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等
・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点	
・	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定5		負圧・粉じん装 置の排吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測 定 点 総 計				点	

  
注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。  
  
・行わない。  
  
(例) アスベスト粉じん濃度測定方法  

	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレン フィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野		
計数アスベスト	幅3μm未満、長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上		
定量限界	50本/L	0.47本/L	0.3本/L

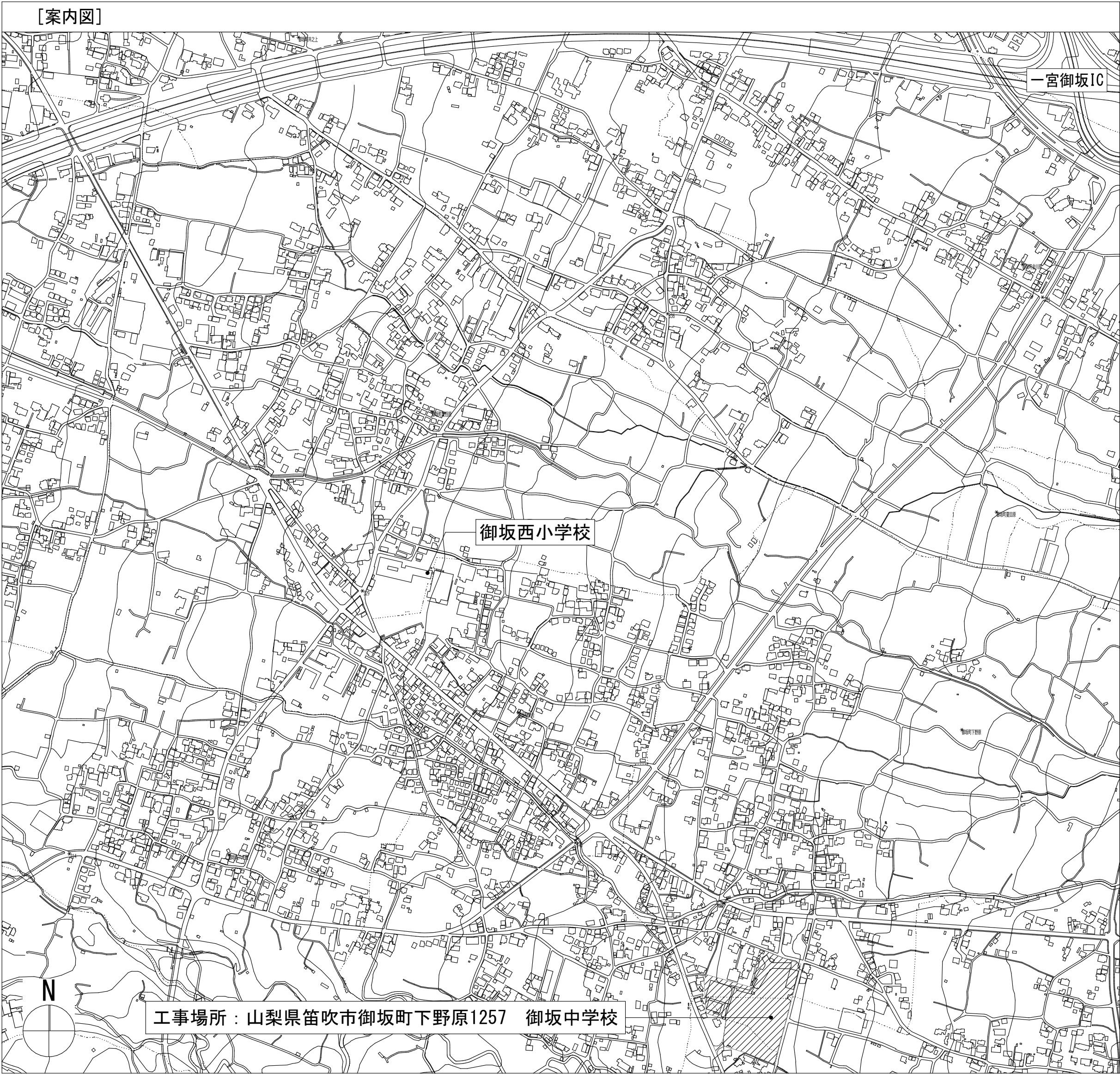
  
記録する項目  
ア. 測定結果  
イ. 測定時間  
ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。)  
エ. サンプリング条件  
(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)  
オ. マウンティング法  
カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数  
キ. 測定時(各測定場所ごと)の  
天候、温度、湿度、外気の風速及び風量  
  
測定機関  
都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 [6.1.3(3)]  
  
施工記録報告書の提出  
1. 施工計画書  
2. 工事記録及び工事写真  
3. 産業廃棄物処理記録(虎石綿)  
4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等)  
5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録  
6. その他必要事項  
提出部数 部作成

	縮 尺 A1 : A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
		図面名称 特記仕様書-1	No. D II 01



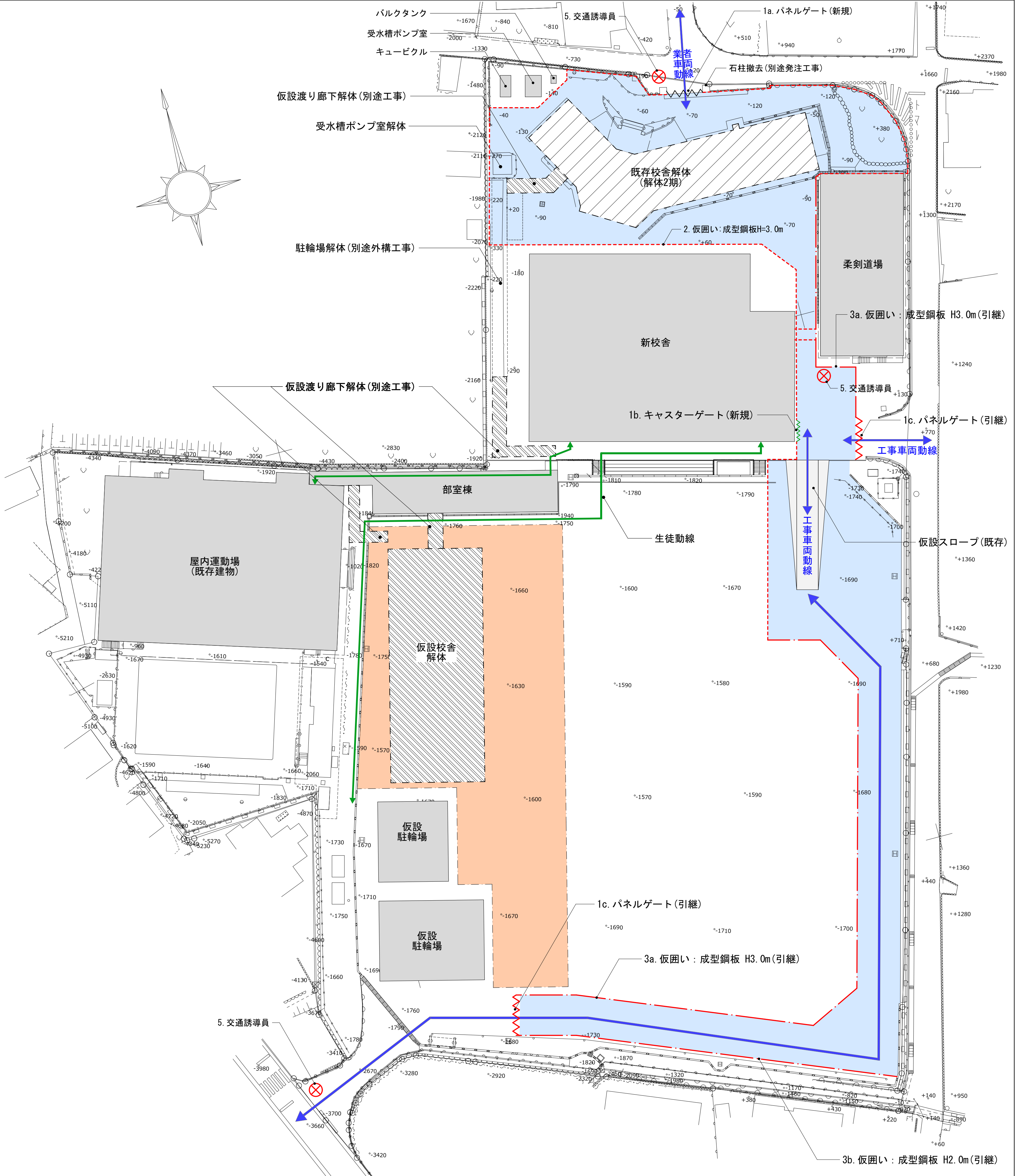






■仮設計画		
記号	仕様	数量
	1a. 門扉：パネルゲート W7200×H4500	新規 2.0 (ヶ所)
	1b. 門扉：キャスターゲート W4200×H1800	新規 1.0 (ヶ所)
	1c. 門扉：パネルゲート W7200×H4500	引継 2.0 (ヶ所)
	2. 仮囲い：成型鋼板 H3000 (新規設置)	260 (m)
	3a. 仮囲い：成型鋼板 H3000 (引継)	195 (m)
	3b. 仮囲い：成型鋼板 H2000 (引継)	70 (m)
	4. 片開き戸 (新規設置)	2.0 (ヶ所)
	5. 交通誘導員	延べ150 (人)
	本工程対象建物を示す	
	別途プレハブ校舎解体工事を示す	
	工事ヤードを示す	
	工事ヤード(別途プレハブ校舎解体工事)を示す	
	生徒動線を示す	
	工事車両動線を示す	

校舎内残置物処分のため、混合廃棄物コンテナ(4t)×15台を本工程で見込むこと。  
※工事期間：4.5ヵ月

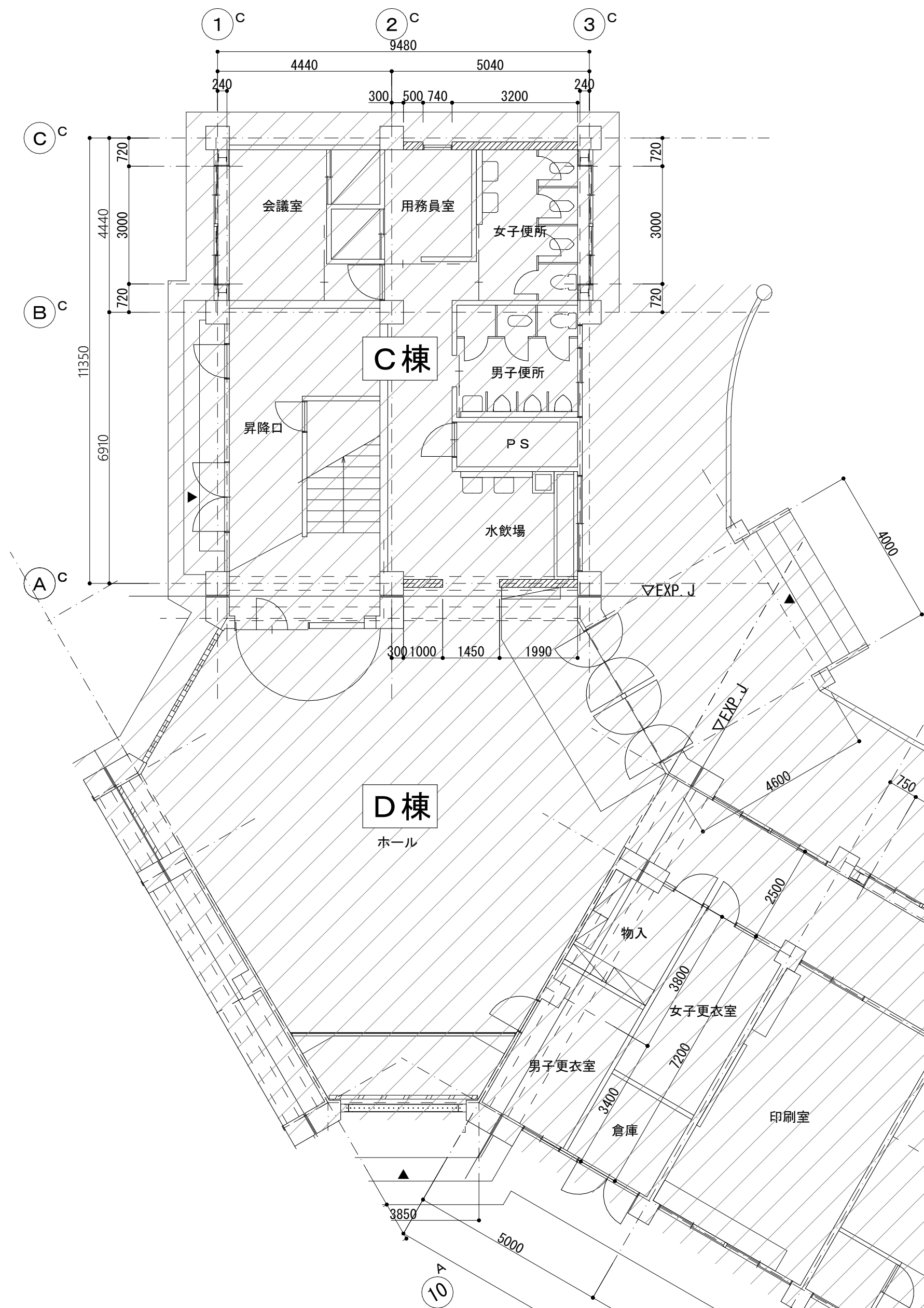


縮尺 A1：1:400 A3：表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
	図面名称 案内図・配置図	No. D II 03

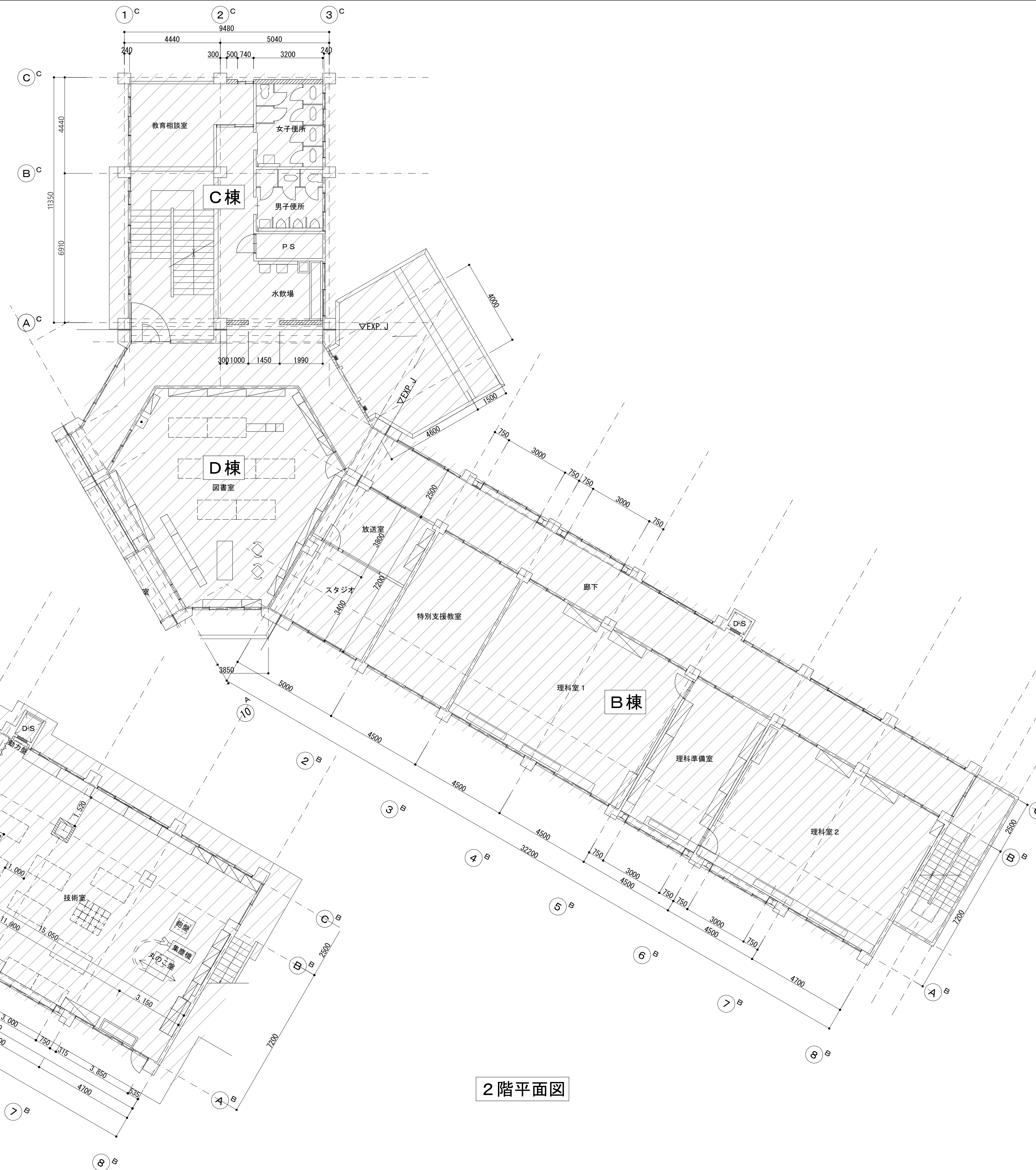




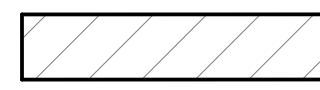




1階平面図



2階平面図

 : 本工事体範囲

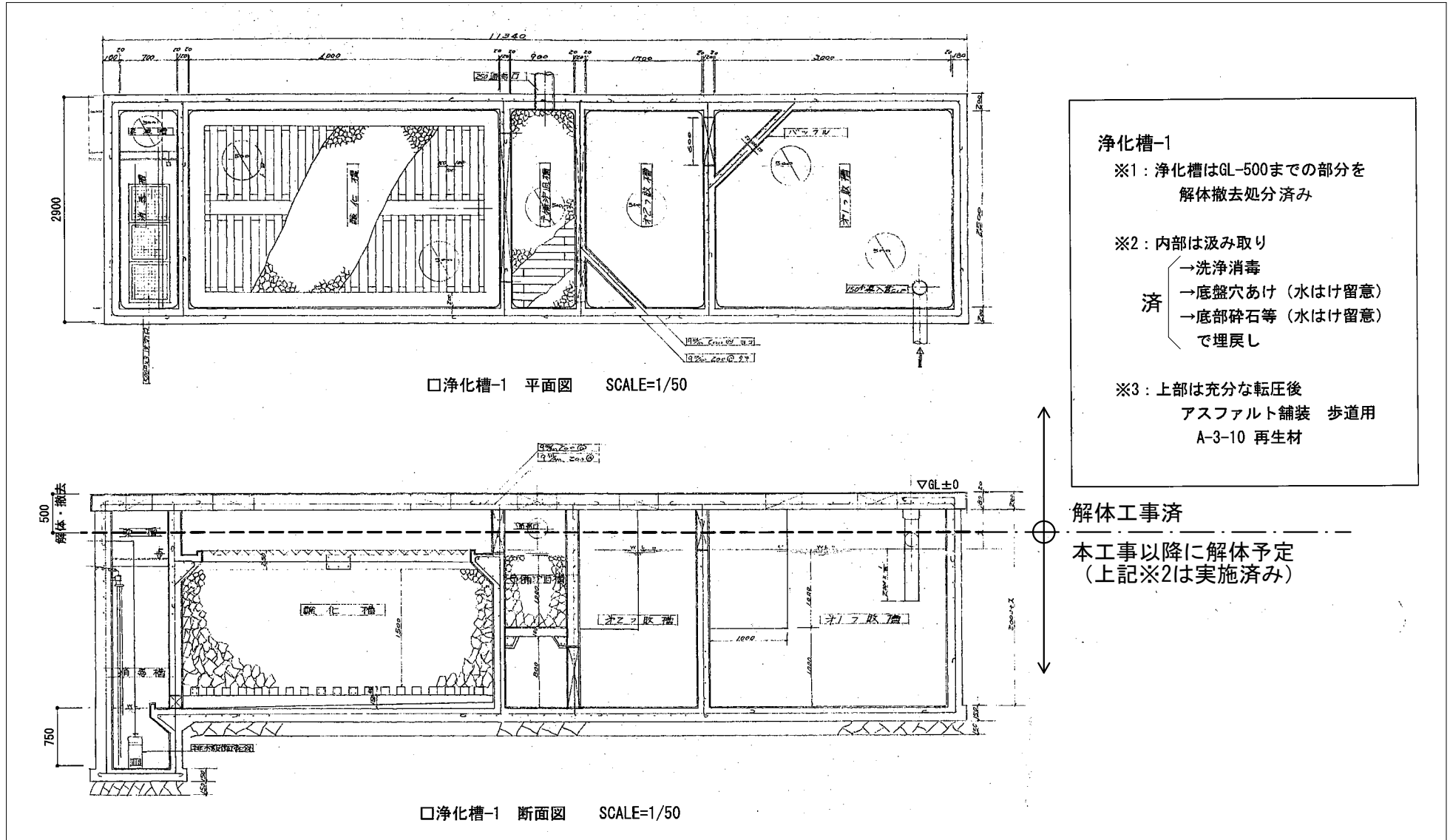
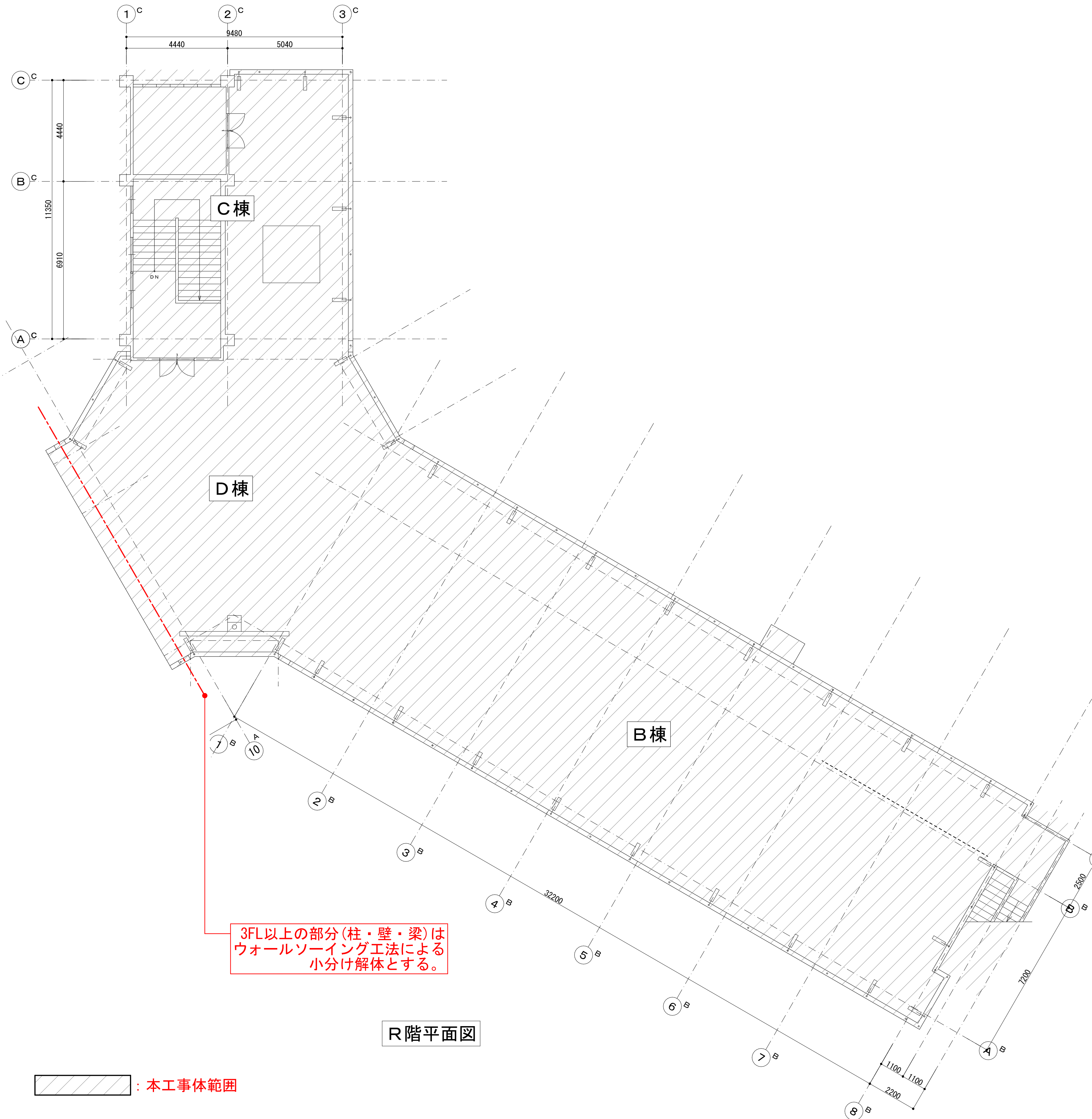
縮尺 A1 : 1:100 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 1F・2F平面図	No. D II 05





縮尺 A1：1:100 A3：表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 3F・4F平面図	No. D II 06





J\_浄化槽詳細図

縮 尺 A1 : 1:100, 1:1 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 RF平面図・浄化槽詳細図	No. D II 07



外部仕上表					
外 壁			基 礎 巾 木		
	補 強 後	A L Cパネル t=100 防水型複層塗材E、一部(1階廊壁)磁器質タタ貼り(小口平)		補 強 後	コンクリート打放し補修
外 壁 (E V部)			犬 走 り		
	補 強 後	A L Cパネル t=100 防水型複層塗材E		補 強 後	コンクリート金ゴテ仕上げ
屋 根					
	補 強 後	タタ金ゴテ下地 シート防水 t=1.2 トップコート仕上げ			
屋 根 (E V部)					
	補 強 後	タタ金ゴテ下地 シート防水 (S-FI工法) トップコート仕上げ			

内部仕上表

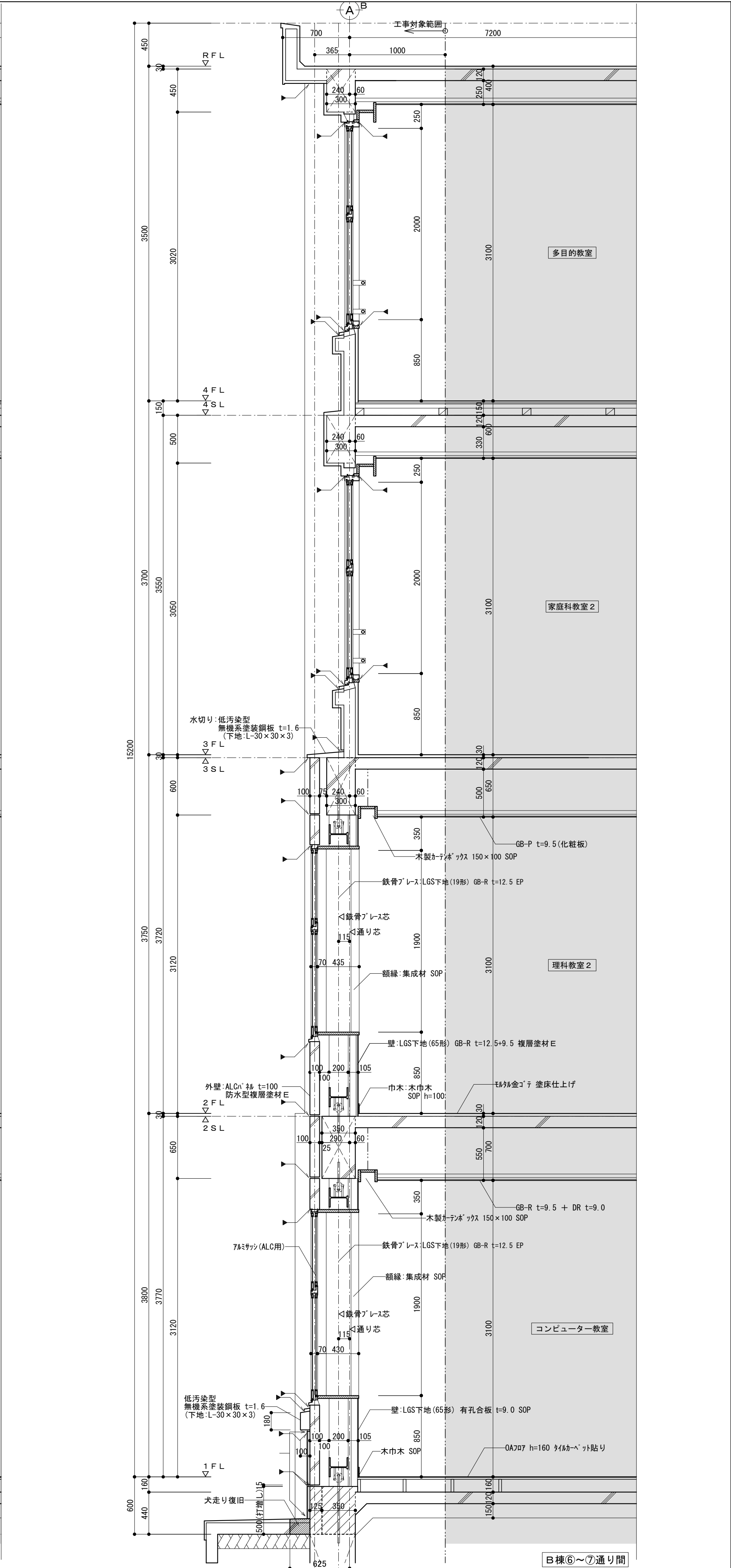
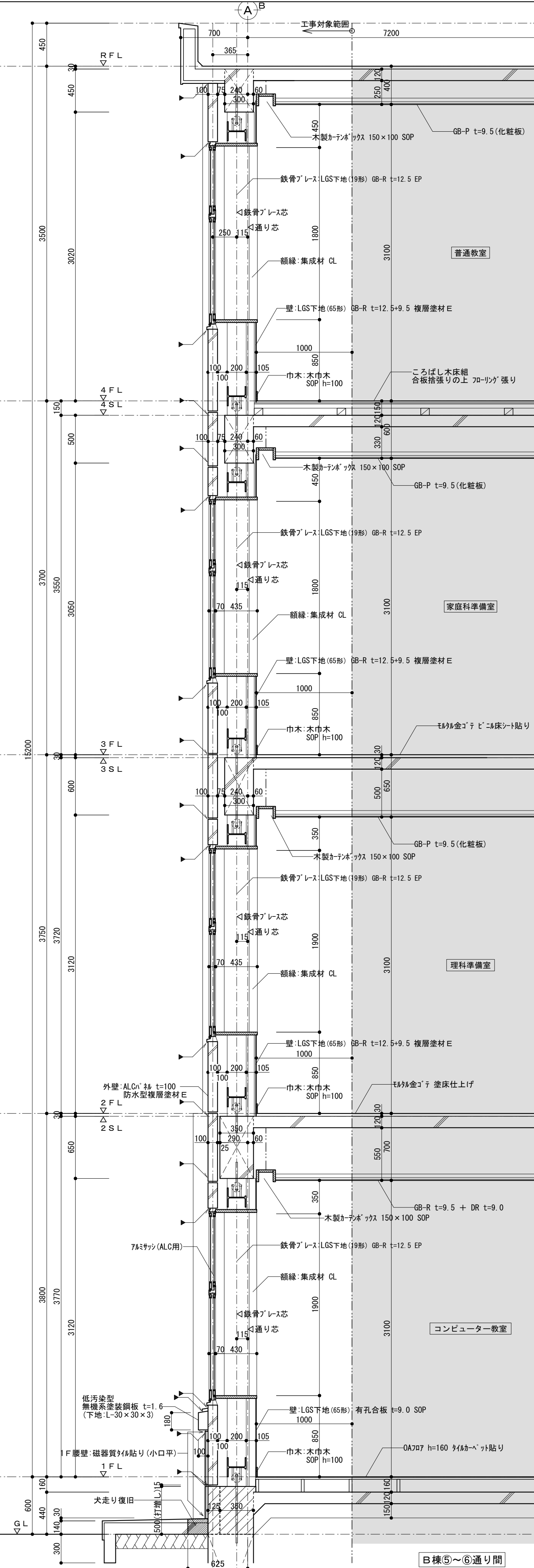
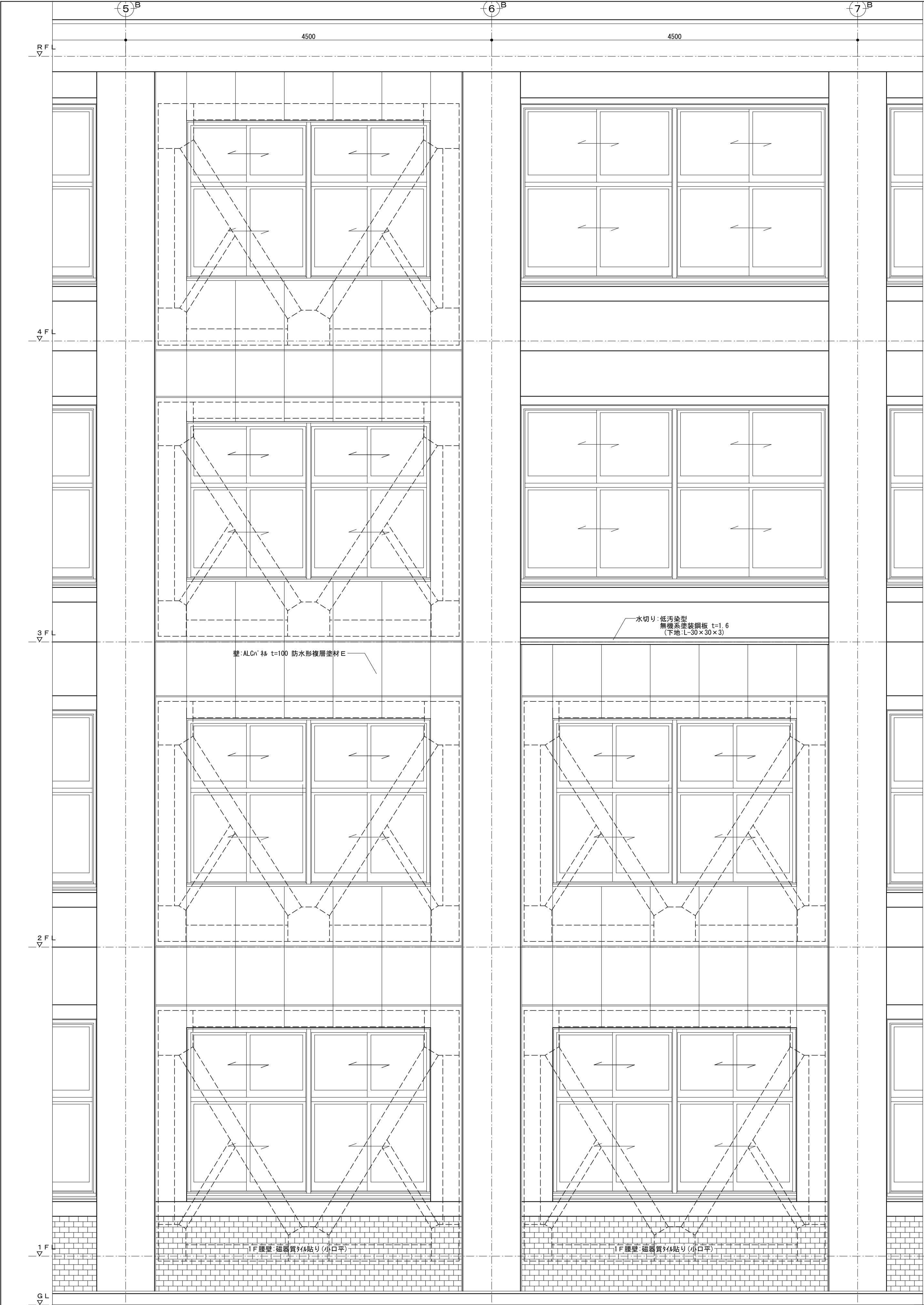
階	室名		床	巾木	腰壁	壁(柱・梁)	天井	カーテンボックス	廻縁	天井高	備考	階	室名		床	巾木	腰壁	壁	天井	カーテンボックス	廻縁	天井高	備考
1	(A棟) 職員室	補強後	木床立床組下地合板t=12の上 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100 ソフト巾木 H=100	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3050		(D棟) 図書室	補強後	タタ金ゴテ下地 ビニ床シート貼り	木巾木 S O P H=100	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-R t=9.5 + DR t=9.0	既存のまま	塩ビ	3050		
	校長室	補強後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	既存のまま	塩ビ	3050		(A棟) 資料室(社会科)	補強後	タタ金ゴテ下地 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	既存のまま	塩ビ	3000		
	会議室	補強後	木床立床組下地合板t=12の上 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100 ソフト巾木 H=100	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E R C壁：タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3050		(B棟) 美術科教室1	補強後	タタ金ゴテ下地 ビニ床シート貼り	木巾木 S O P H=100	LGS下地 W=100 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 W=100 合板 t=5.5 ビニ床貼り	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3100		
	技術科教室	補強後	タタ金ゴテ下地 化粧系塗床仕上げ (ノンスリップ仕様)	木巾木 S O P H=100 ソフト巾木 H=100	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E R C壁：タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3150		家庭科準備室	補強後	タタ金ゴテ下地 ビニ床シート貼り	木巾木 S O P H=100	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3100		
	昇降口	補強後	タタ金ゴテ下地 化粧系塗床仕上げ	タタ金ゴテ下地 E P H=150	タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	R C壁：タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	既存のまま	——	既存のまま	——		(C棟) 生徒食堂	補強後	タタ金ゴテ下地 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100	R C壁・GB壁：GB-R t=12.5 (GL工法) ビニ床貼り	R C壁・GB壁：GB-R t=12.5 (GL工法) ビニ床貼り	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	2500		
	(B棟) コンピューター教室	補強後	0A707 H=160 タタ金ベニツタ t=6.5	木巾木 S O P H=100 ソフト巾木 H=100	LGS下地 有孔合板 S O P	LGS下地 有孔合板 S O P 一部LGS下地 有孔シナ合板 S O P	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3100		(A棟) 資料室	補強後	タタ金ゴテ下地 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	既存のまま	塩ビ	3000		
	男子更衣室	補強後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-R t=9.5 E P	——	塩ビ	2500		(B棟) 音楽教室2	補強後	鋼製床下地 (H=150～550)合板t=12捨張りの上 タタ金ベニツタ貼り	木巾木 S O P H=100	木調線下地 有孔シナ合板 t=9.0 S O P	木調線下地 有孔シナ合板 t=9.0 S O P	LGS下地 GB-R t=9.5 + DR t=9.0	木製 SOP	塩ビ	3100		
	物入	補強後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-R t=9.5 E P	——	塩ビ	2900		音楽準備室	補強後	鋼製床下地 (H=150)合板t=12捨張りの上 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100	タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	2900		
	(C棟) 休憩室	補強後	木床組下地合板 t=12捨張りの上 タタミ敷き	——	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 ビニ床貼り	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 ビニ床貼り	LGS下地 GB-R t=9.5 ビニ床貼り	木製 SOP	塩ビ	2400		(C棟) 教育相談室	補強後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	木製 SOP	塩ビ	2500		
	用務員室	補強後	木床組下地合板 t=12捨張りの上 タタミ敷き	——	R C壁・GB壁：LGS下地 GB-R t=12.5 (GL工法) ビニ床貼り	R C壁・GB壁：LGS下地 GB-R t=12.5 (GL工法) ビニ床貼り	LGS下地 GB-R t=9.5 ビニ床貼り	木製 SOP	塩ビ	2400		PH (C棟) ボンブ室	補強後	既存のまま	既存のまま	A L Cパネル W=100	A L Cパネル W=100	既存のまま	——	——	3000		
												各階共通	(A・B棟) 普通教室(2～4階)	補強後	ころばし床組下地合板t=12捨張りの上 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100 ソフト巾木 H=100	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3050	
2	(A棟) 管理室(図書)	補強後	タタ金ゴテ下地 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	既存のまま	塩ビ	3050		(C棟) 女子便所(1～3階)	補強後	タタ下地タタ金 磁器質タタ金 50×50 貼り	——	陶器質タタ金 100×100 貼り H=1200	タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	LGS下地 けいカル板 t=6.0 E P ※アスベスト含有(みなし)	——	塩ビ	2500		
	(B棟) スタジオ	補強後	木床組下地合板 t=12捨張りの上 タタ金ベニツタ貼り	木巾木 S O P H=100	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	既存のまま	塩ビ	2900		男子便所(1階)	補強後	タタ下地タタ金 磁器質タタ金 50×50 貼り	——	陶器質タタ金 100×100 貼り H=1200	タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	LGS下地 けいカル板 t=6.0 E P ※アスベスト含有(みなし)	——	塩ビ	2500		
	放送室	補強後	木床組下地合板 t=12捨張りの上 ビニ床シート貼り	木巾木 S O P	既存のまま	既存のまま	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	——	塩ビ	2900		水飲場(1～4階)	補強後	タタ金ゴテ下地 化粧系塗床仕上げ	ソフト巾木 H=100	陶器質タタ金 100×100 貼り H=1200	R C壁：タタ金ゴテ下地 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	——	塩ビ	2900		
	理科準備室	補強後	タタ金ゴテ下地 化粧系塗床仕上げ	木巾木 S O P H=100	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3100		(A～D棟) 廊下(C棟階段室含む)(1～4階)	補強後	タタ金ゴテ下地 化粧系塗床仕上げ	ソフト巾木 H=100	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	——	塩ビ	2900		
	理科教室2	補強後	タタ金ゴテ下地 化粧系塗床仕上げ	木巾木 S O P H=100	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 複層塗材 E	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	3100		(A棟) 配膳室(1～4階)	補強後	タタ金ゴテ下地 化粧系塗床仕上げ (ノンスリップ仕様)	ソフト巾木 H=100	ALONタタ下地 GB-R t=12.5 (GL工法) タタ金板 t=6 複層塗材 E	ALONタタ下地 GB-R t=12.5 (GL工法) タタ金板 t=6 複層塗材 E	LGS下地 タタ金板 t=6 VP塗装	——	塩ビ	2700		
	(C棟) 適正学級	補強後	タタ金ゴテ下地 フローリング t=15貼り	木巾木 S O P H=100	R C壁・GB壁：LGS下地 GB-R t=12.5 (GL工法) ビニ床貼り	R C壁・GB壁：LGS下地 GB-R t=12.5 (GL工法) ビニ床貼り	LGS下地 GB-P(化粧板) t=9.5	木製 SOP	塩ビ	2500													

	縮 尺 A1 : A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 仕上表 (参考)	No. D II 08



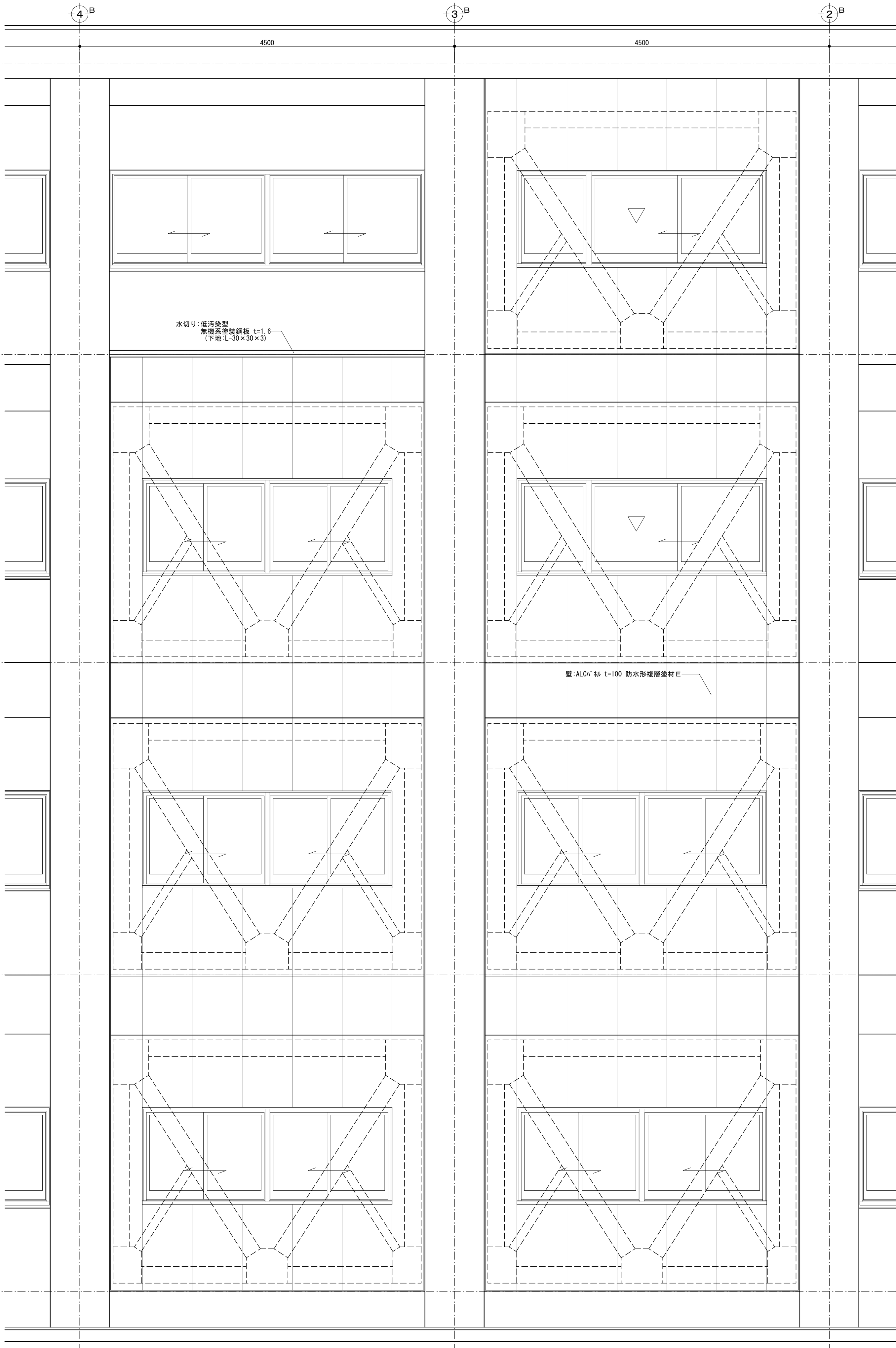
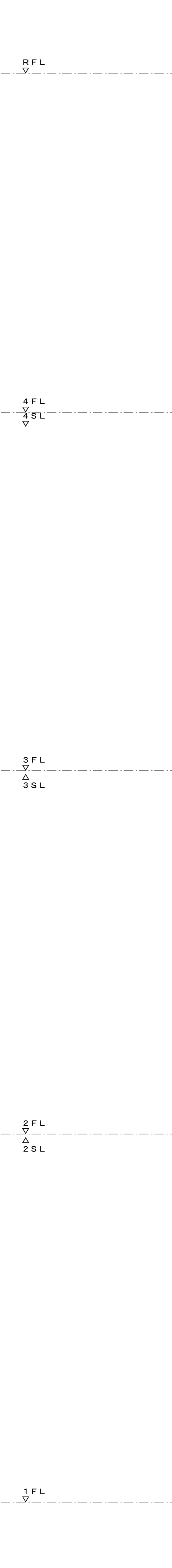
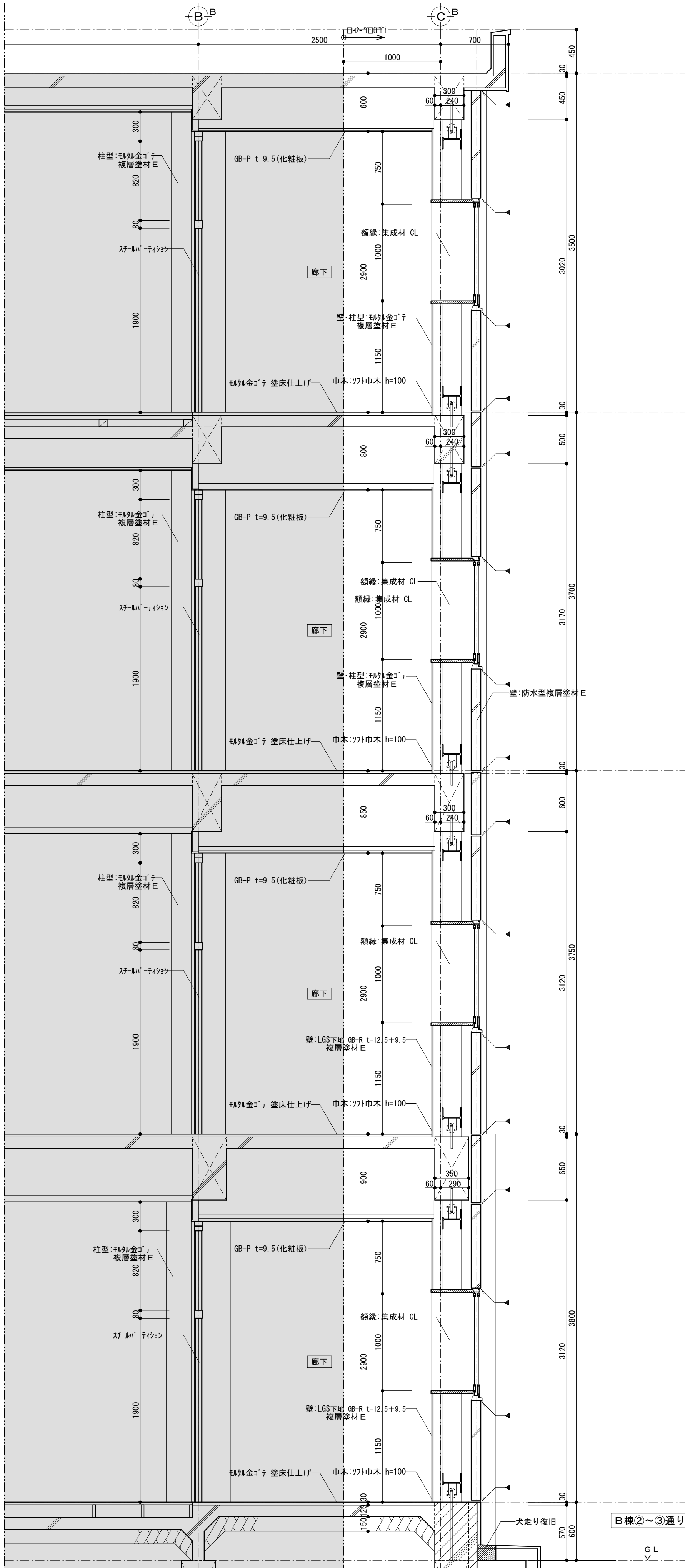






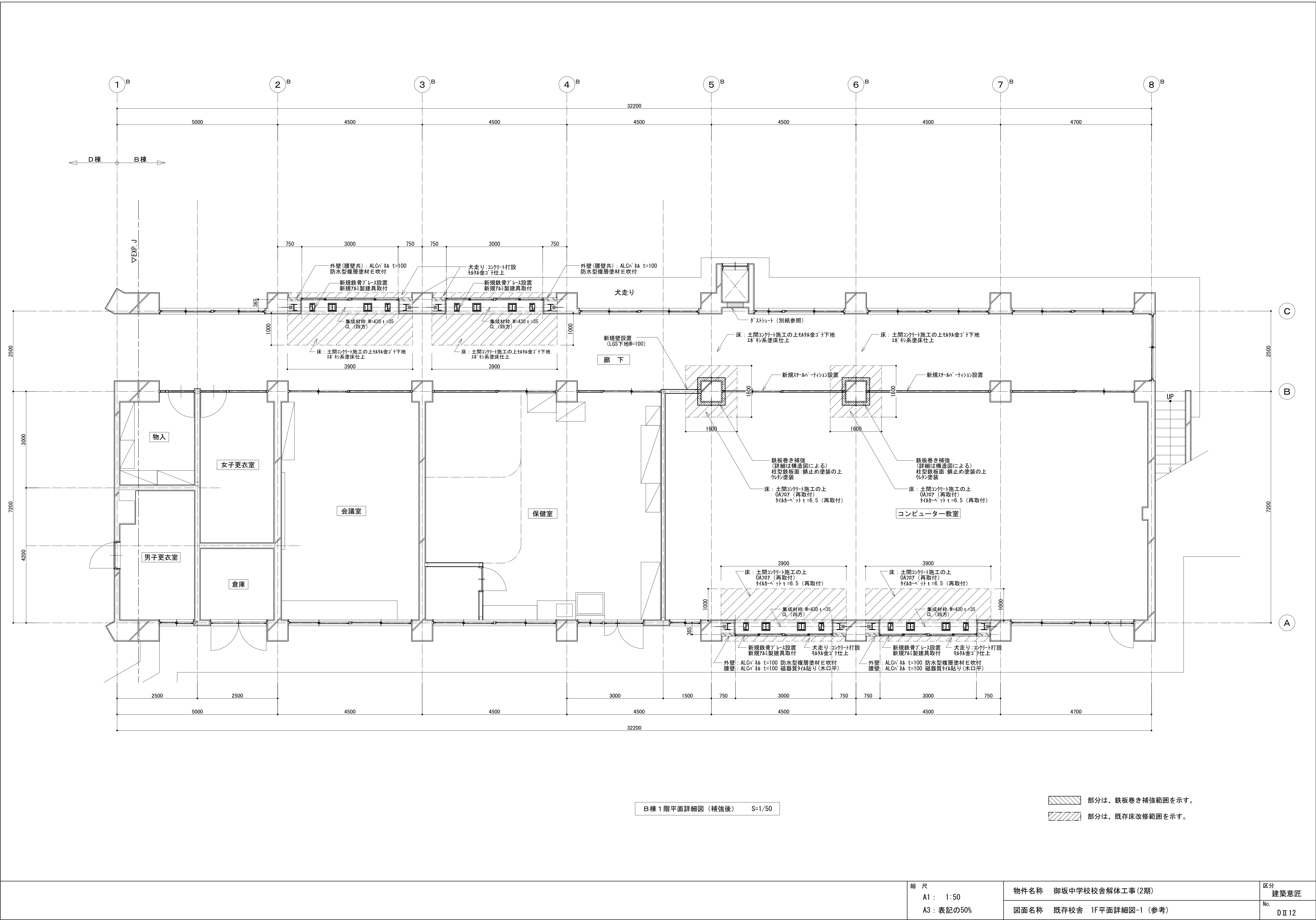
縮尺 A1 : 1:30 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 矩計図I (参考)	No. D II 10





縮尺 A1 : 1:30 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 矩計図2(参考)	No. DⅡ11



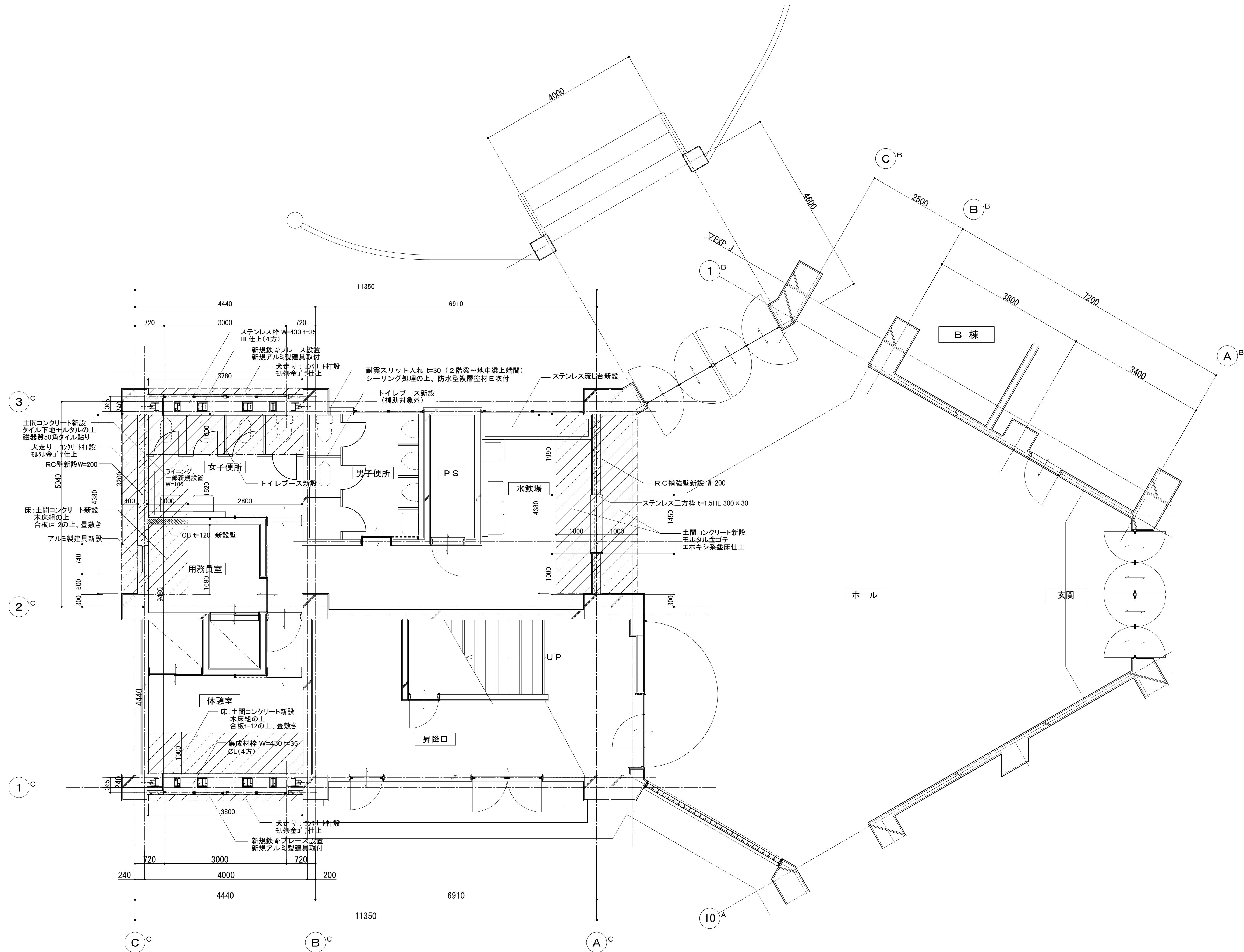


B棟 1階平面詳細図 (補強後) S=1/50

部分は、鉄板巻き補強範囲を示す。  
部分は、既存床改修範囲を示す。

	縮 尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 1F平面詳細図-1 (参考)	No. D II 12



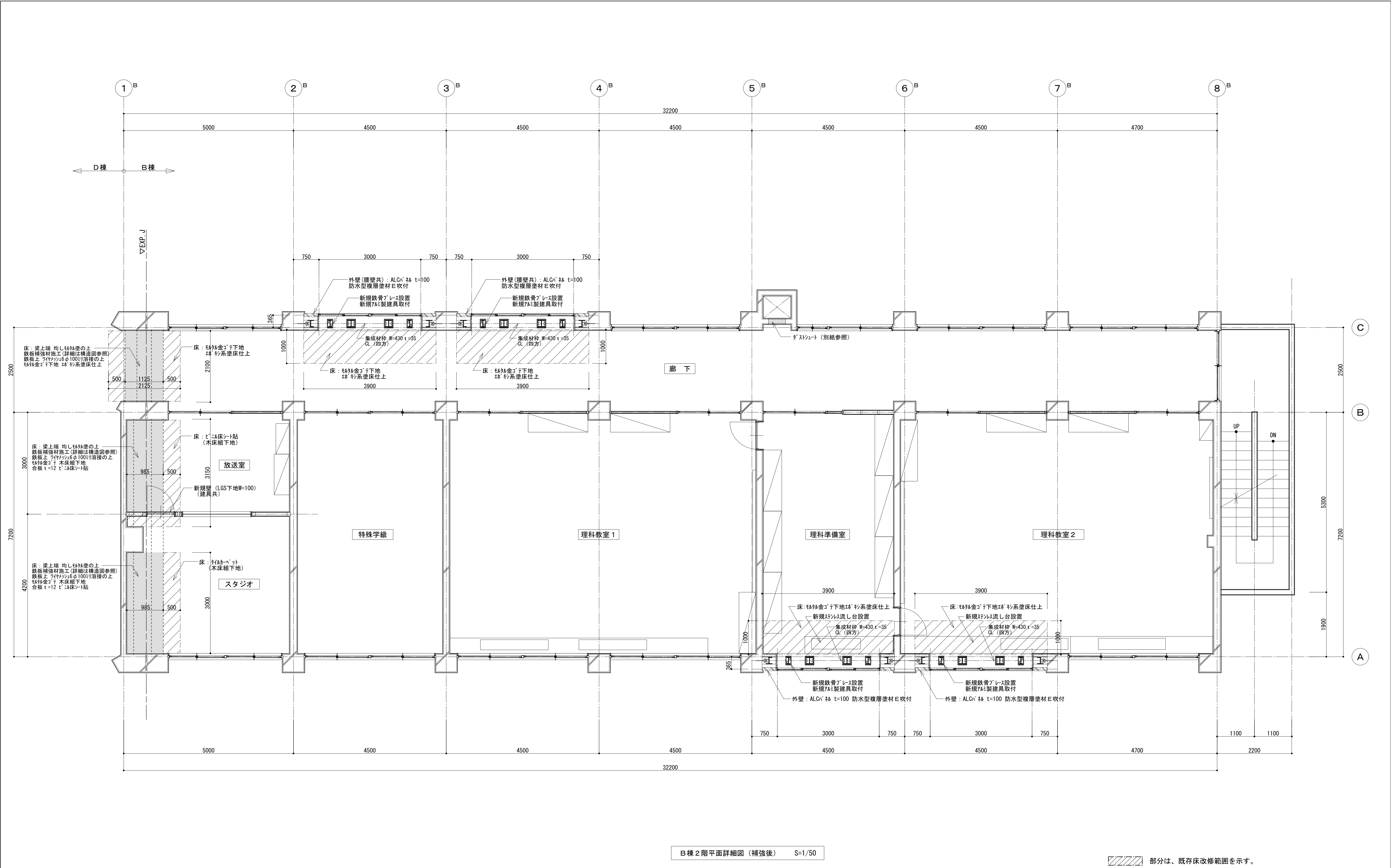


C棟・D棟1階平面詳細図(補強後) S=1/50

- 部分は、RC補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、EXP.J部連結範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。

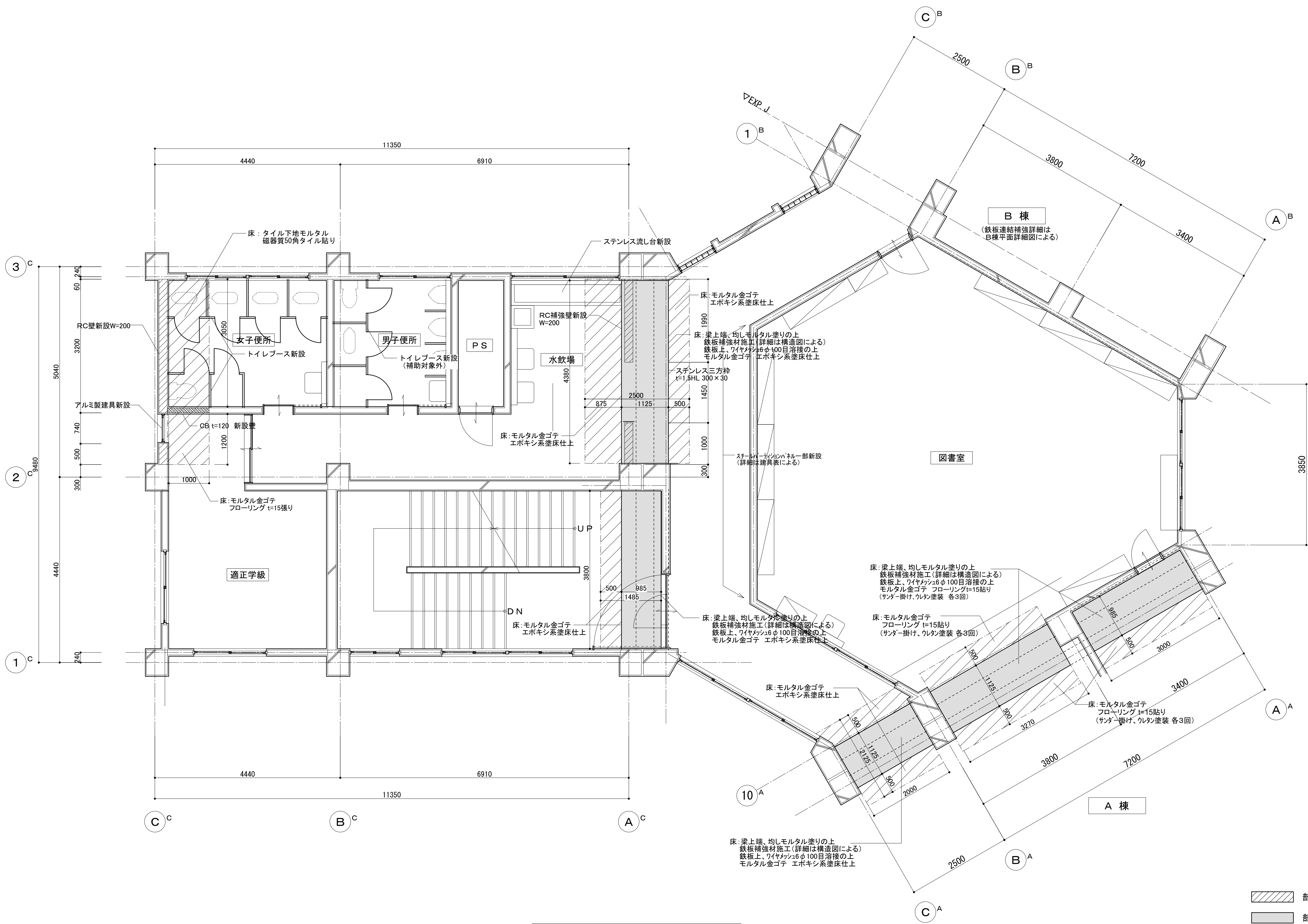
	縮尺 A1: 1:50 A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 1F平面詳細図-2(参考)	No. D II 13





	縮尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分	建築意匠
		図面名称	既存校舎 2F平面詳細図-1 (参考)	No.	D II 14

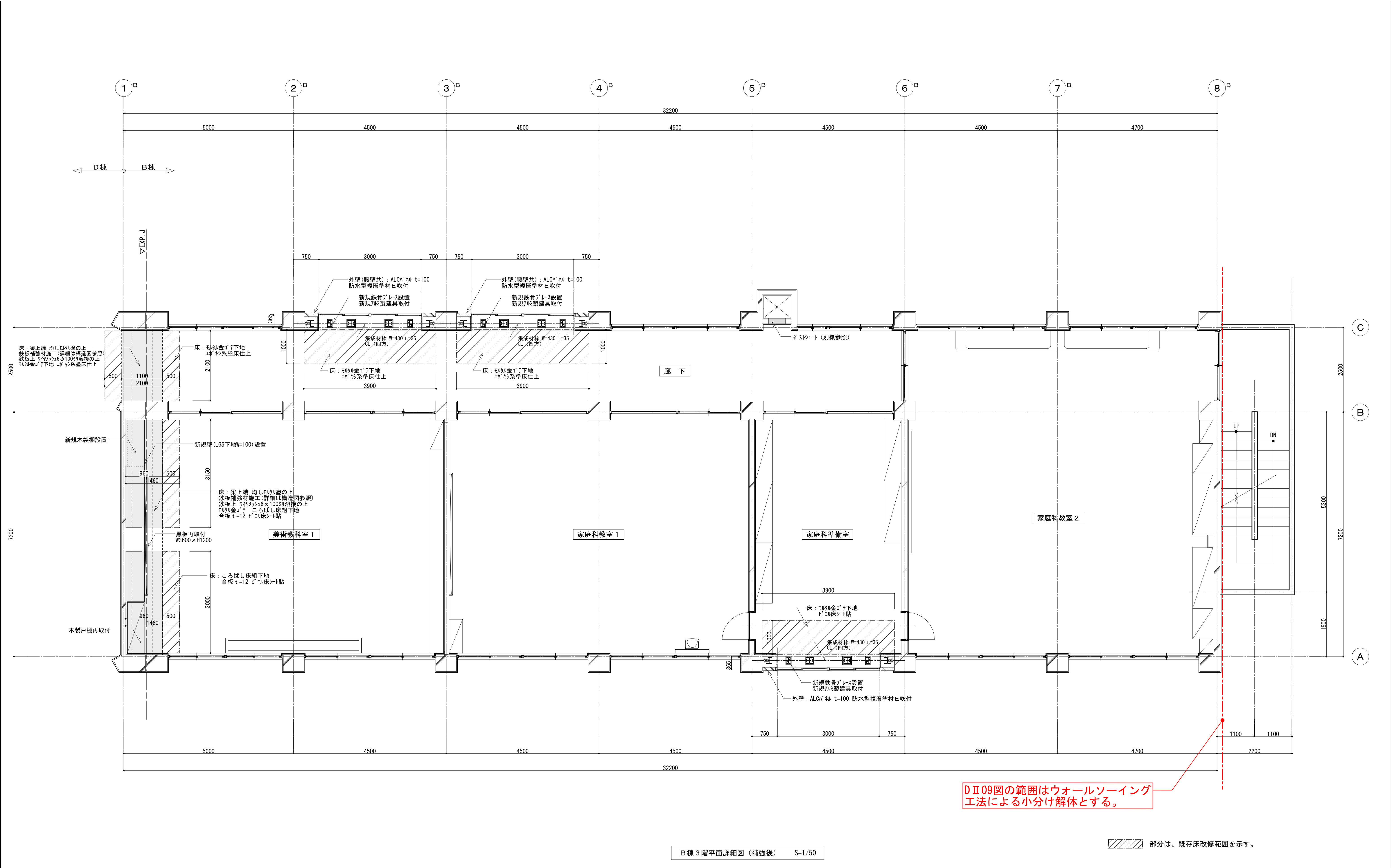




C棟・D棟2階平面詳細図（補強後） S=1/50

- 部分は、RC補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、鉄板巻き補強範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。





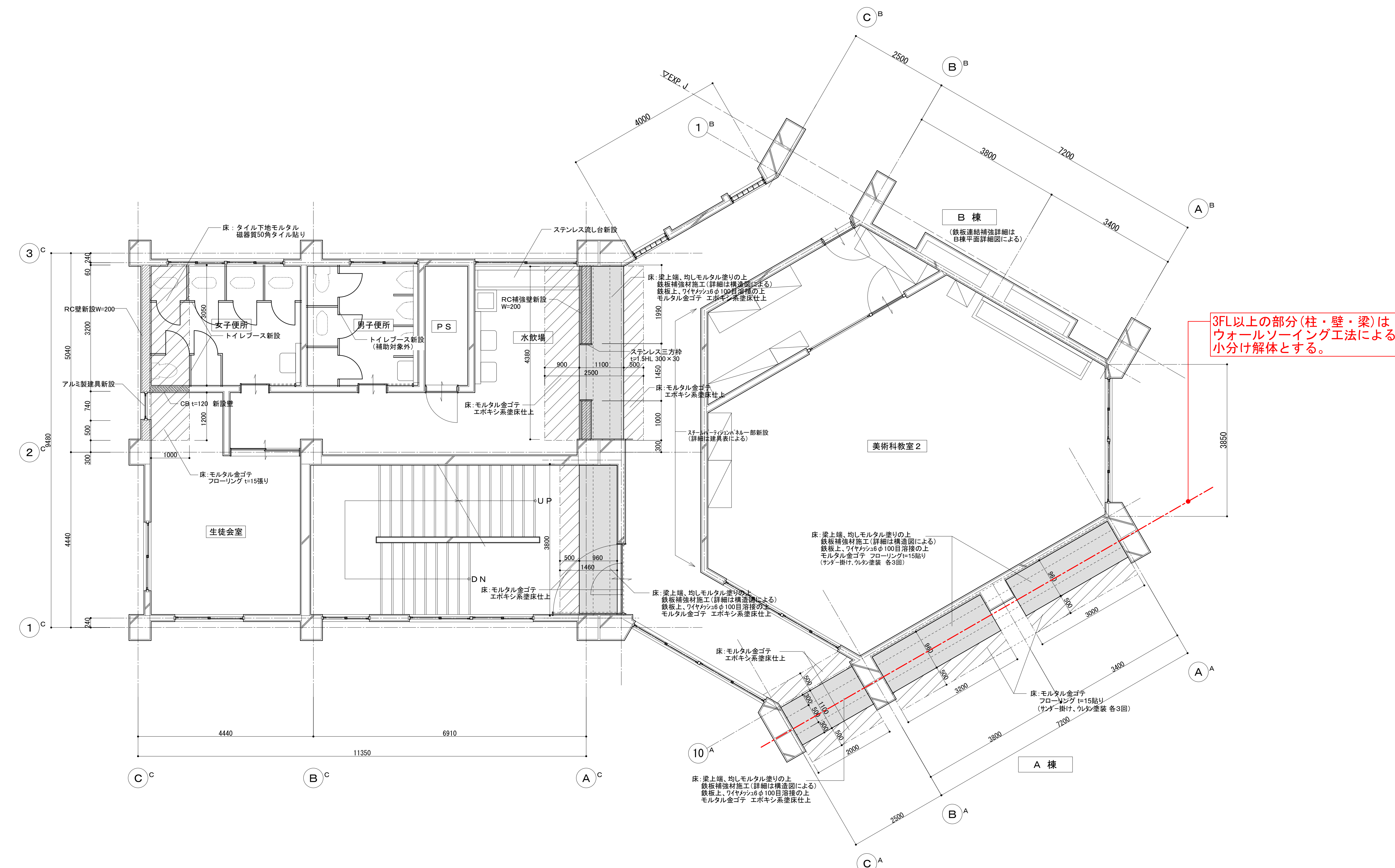
D II 09図の範囲はウォールソーイング  
工法による小分け解体とする。

B棟3階平面詳細図（補強後） S=1/50

//// 部分は、既存床改修範囲を示す。

縮尺 A1： 1:50 A3：表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 3F平面詳細図-1（参考）	No. D II 16





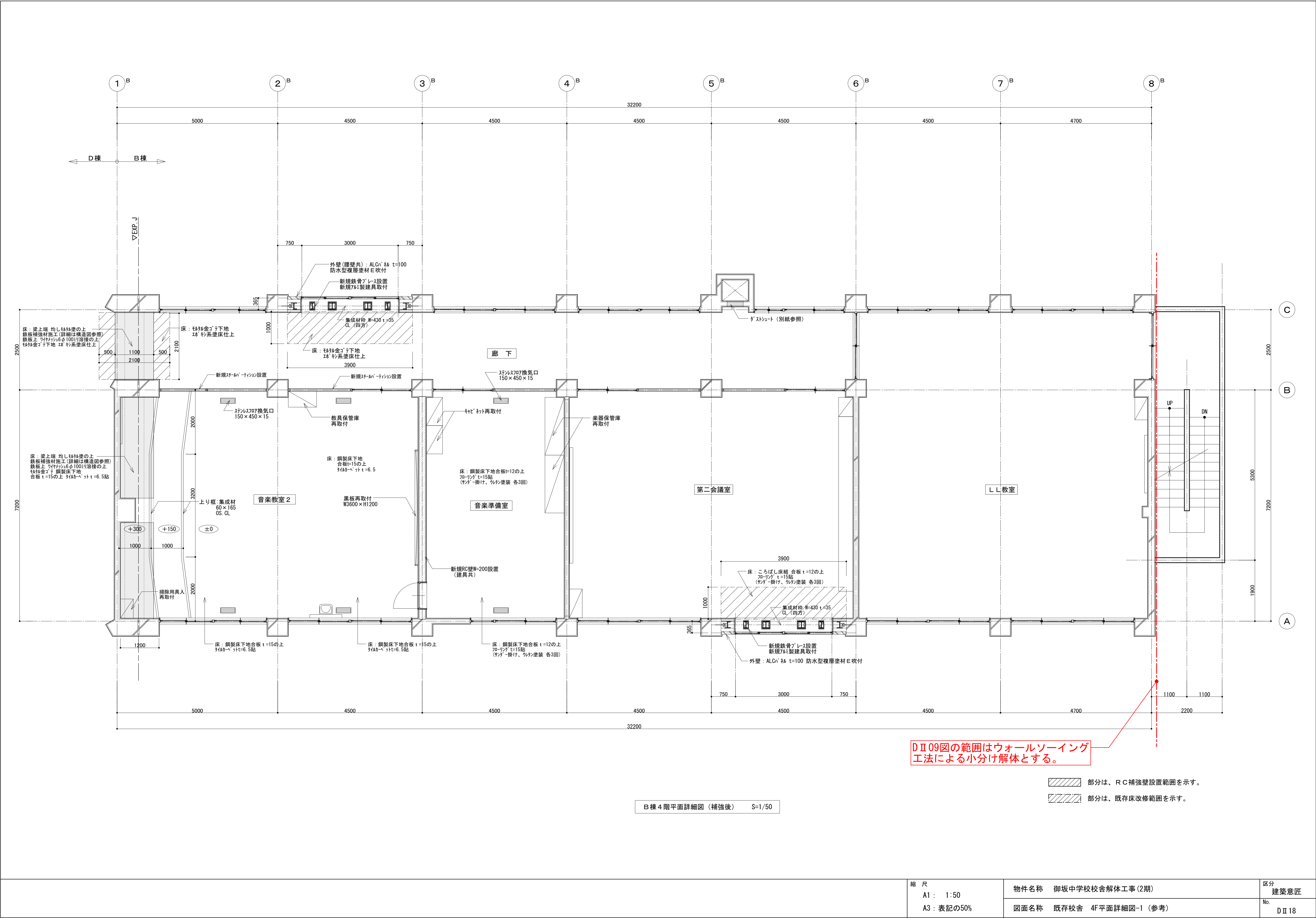
3FL以上の部分(柱・壁・梁)は  
ウォールソーイング工法による  
小分け解体とする。

C棟・D棟3階平面詳細図(補強後) S=1/50

- 部分は、RC補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、鉄板巻き補強範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。

	縮 尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分	建築意匠
		図面名称	既存校舎 3F平面詳細図-2(参考)	No.	D II 17





D II 09図の範囲はウォールソーイング工法による小分け解体とする。

部分は、RC補強壁設置範囲を示す。  
部分は、既存床改修範囲を示す。

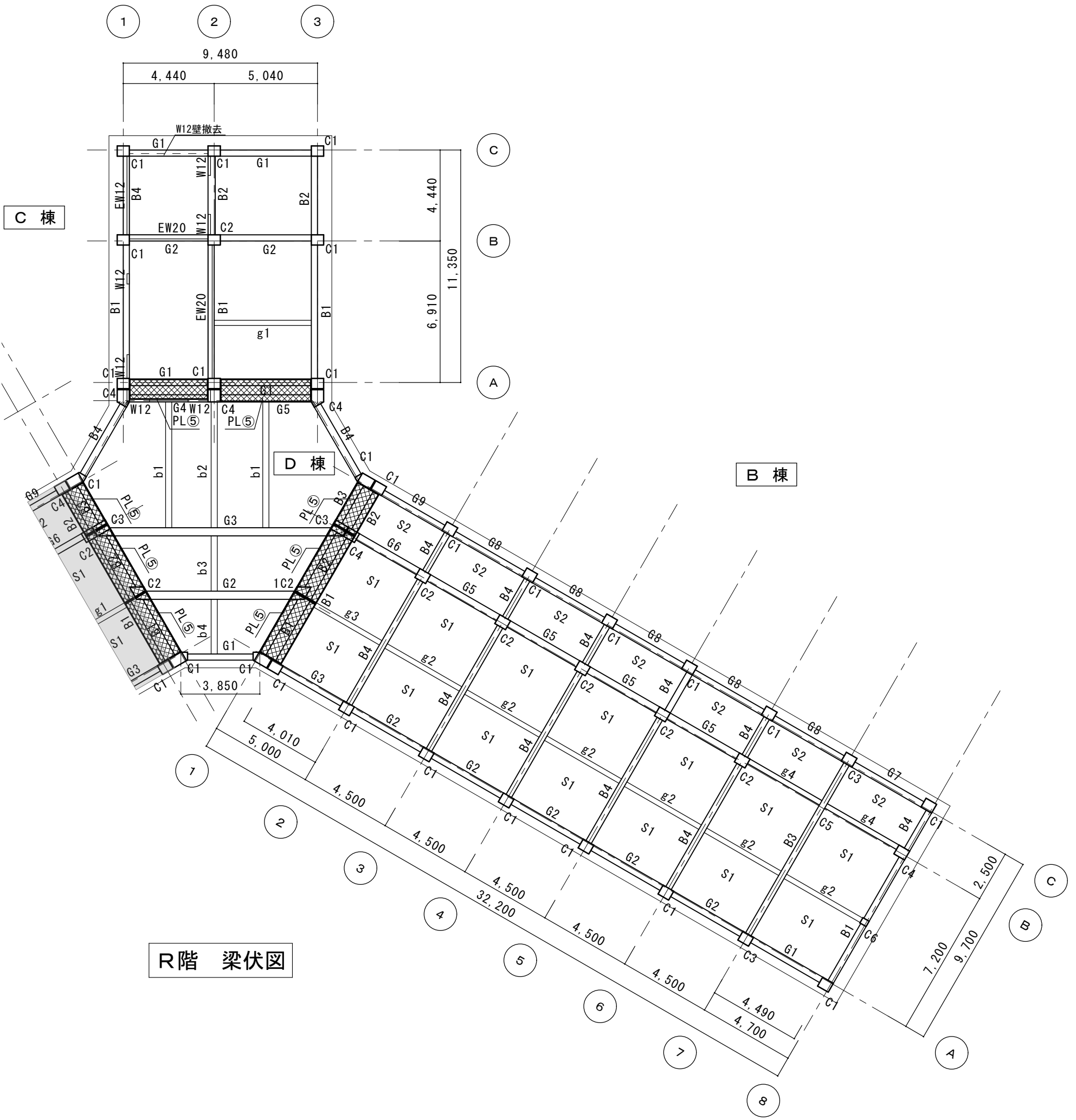
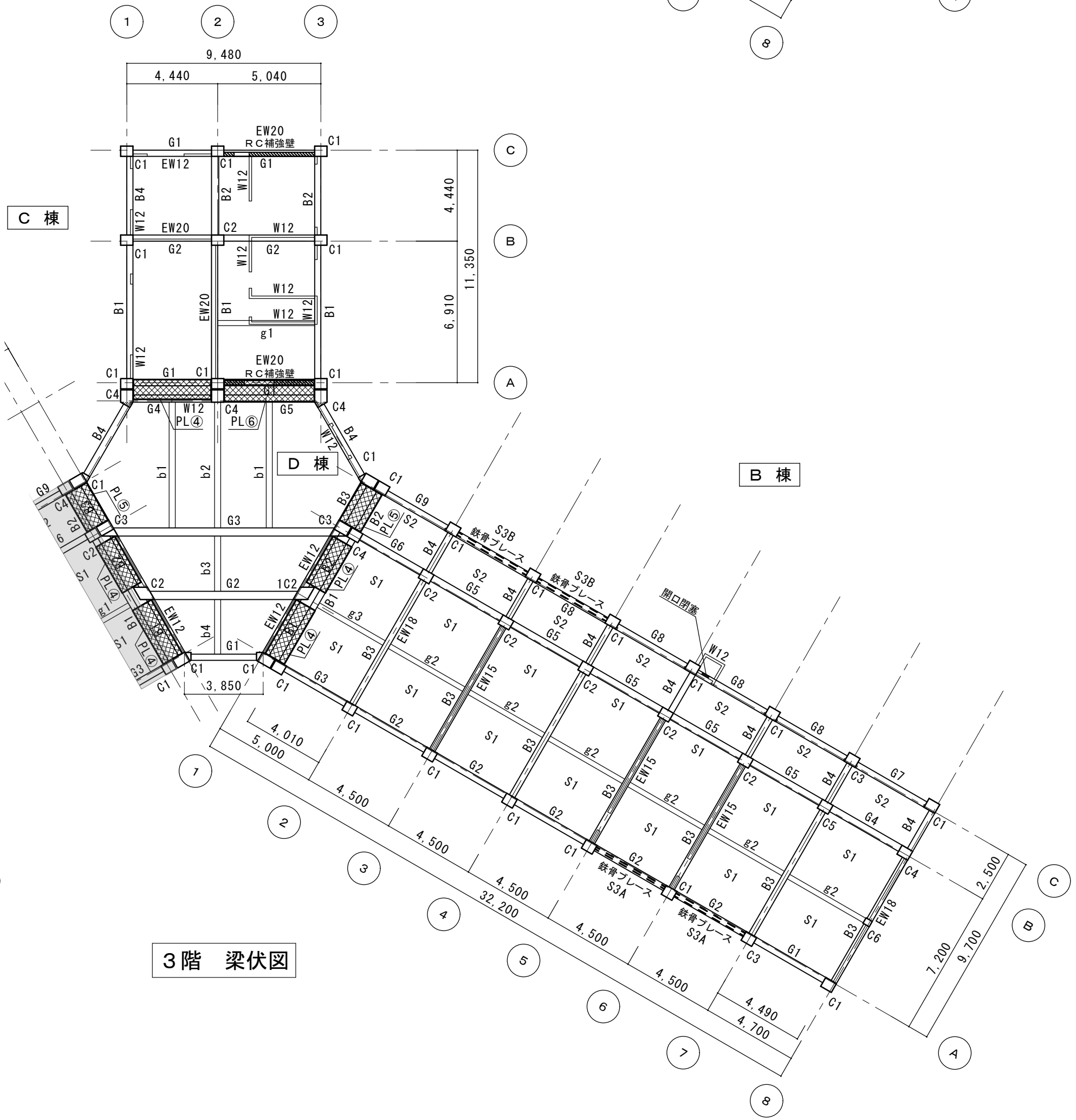
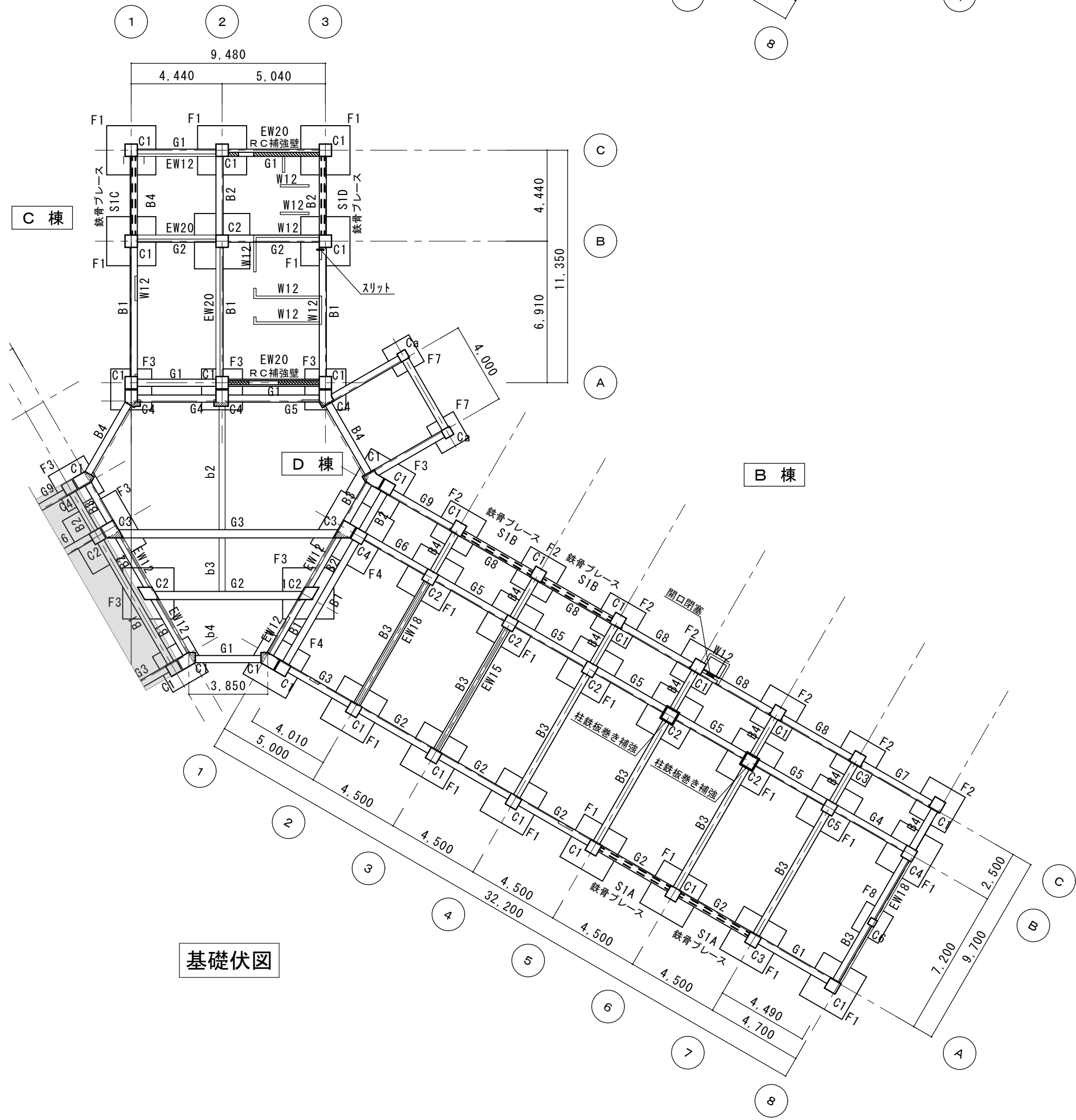
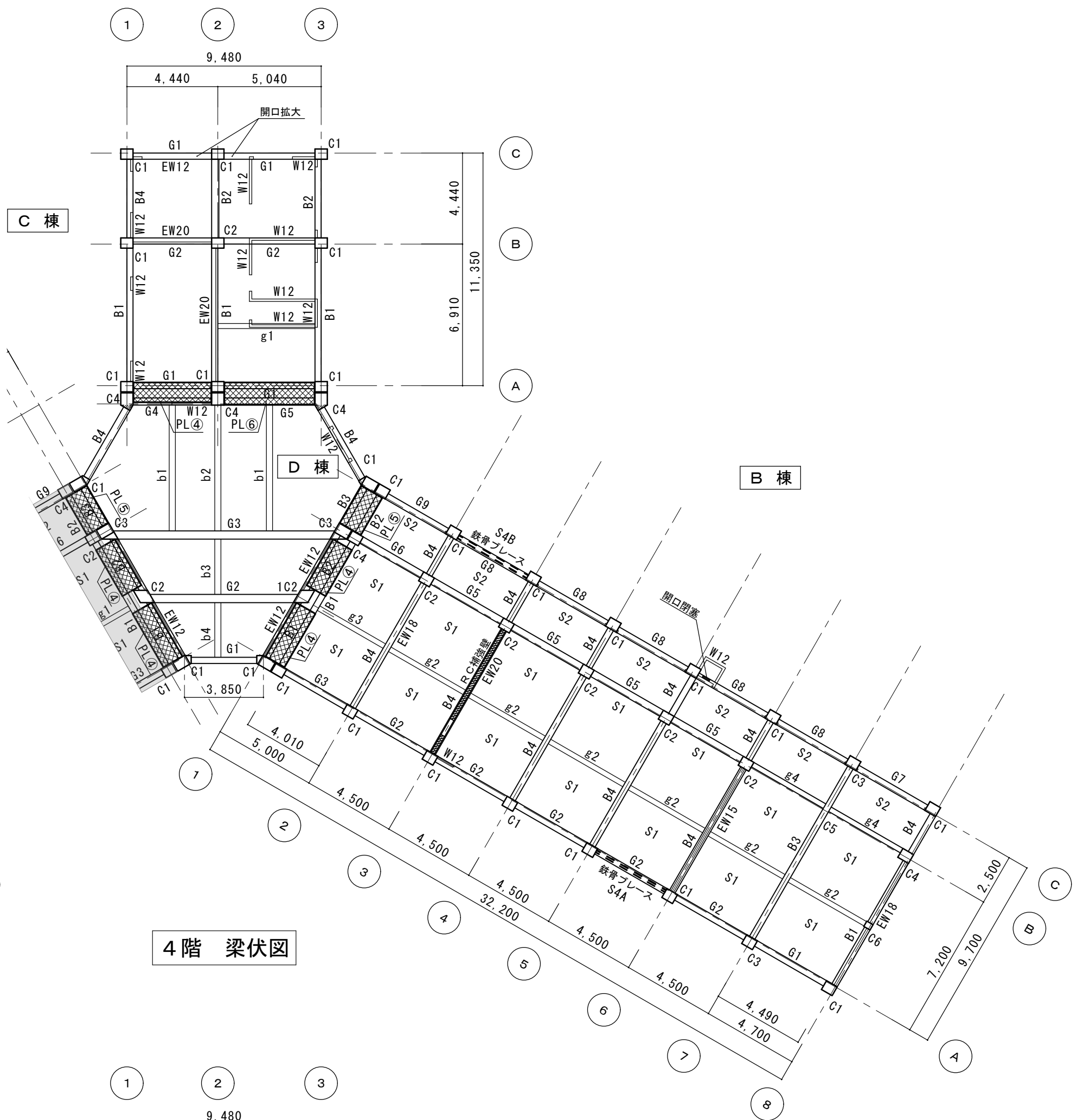
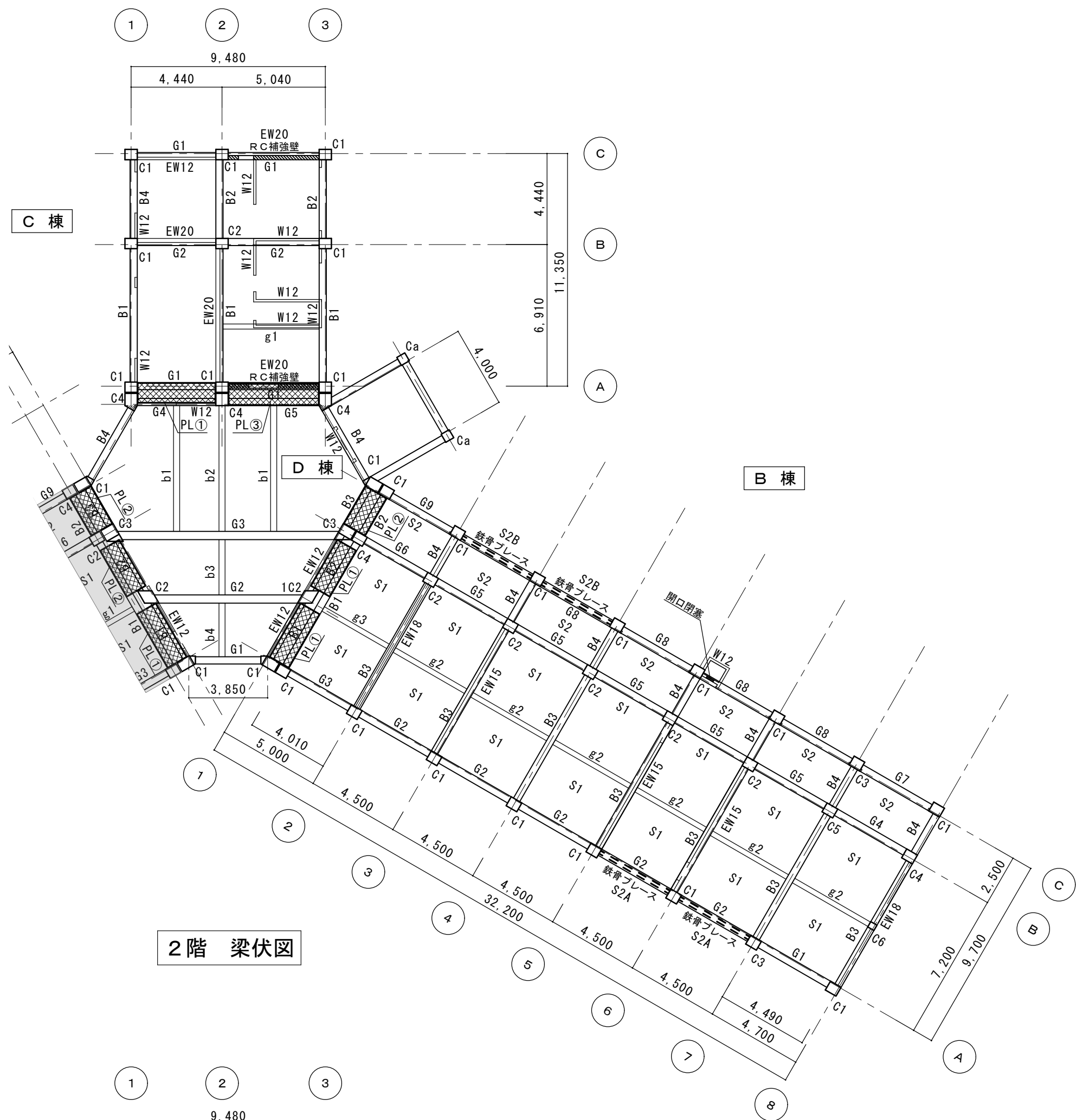
B棟 4階平面詳細図 (補強後) S=1/50

縮尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 4F平面詳細図-1 (参考)	No. D II 18



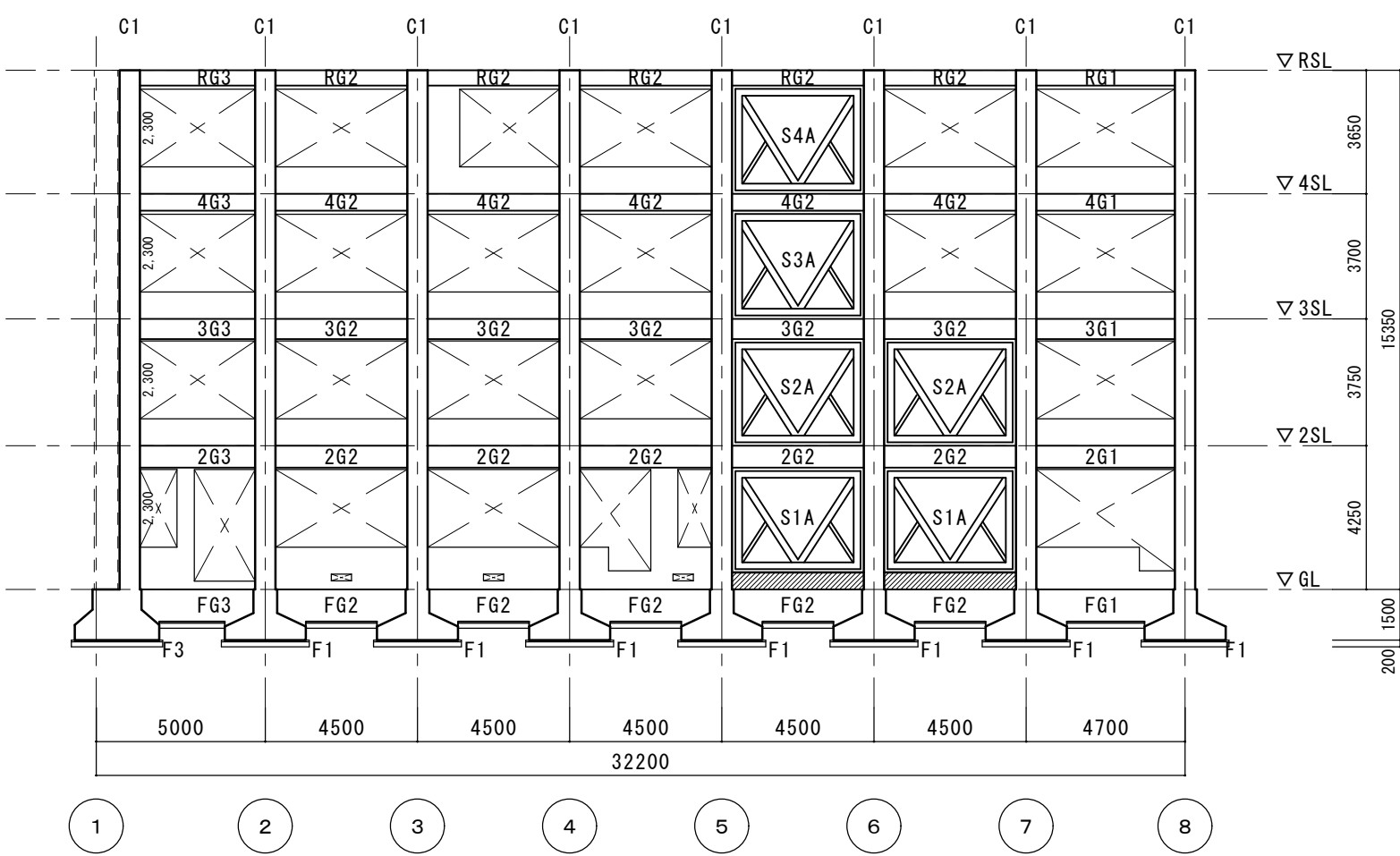




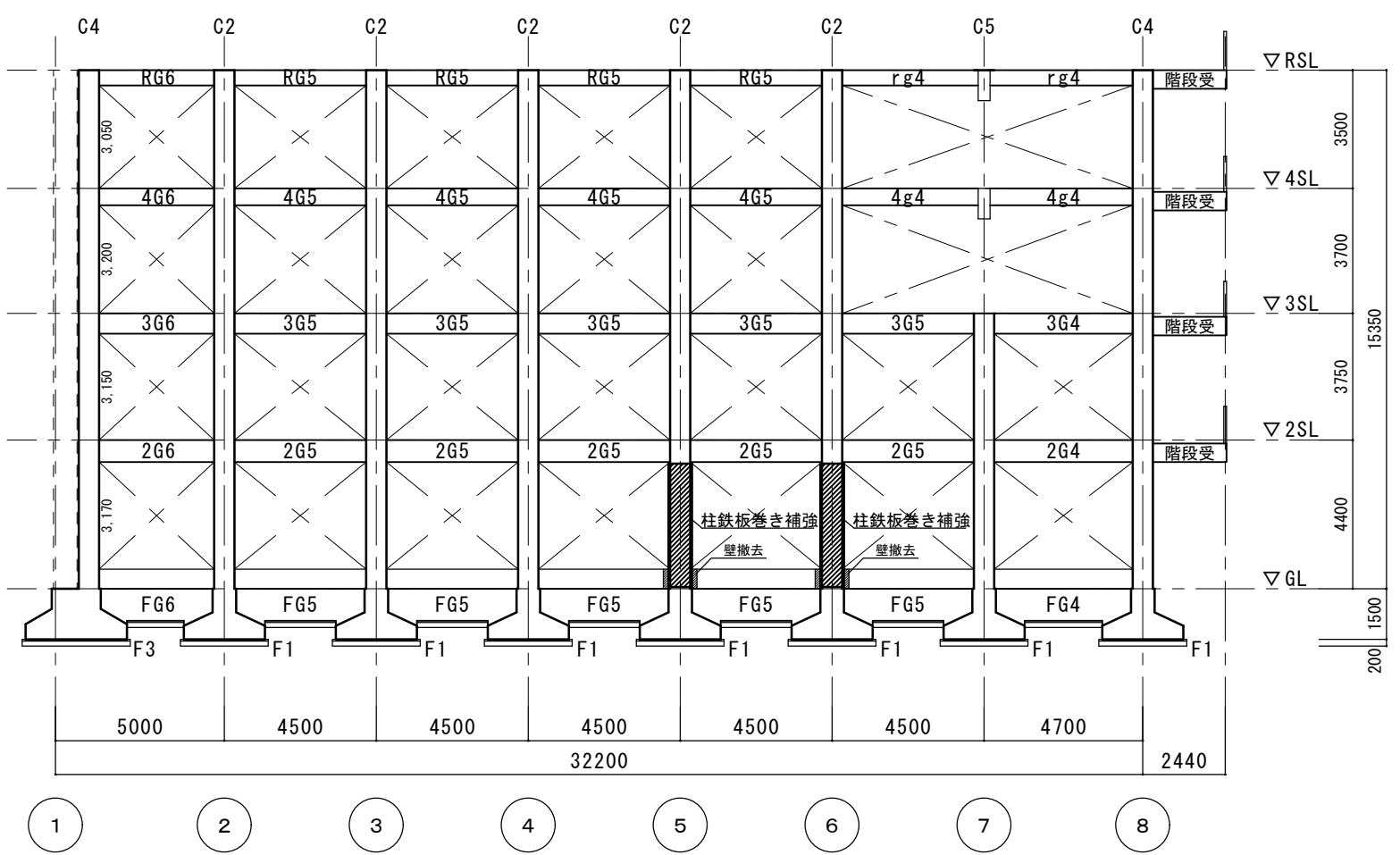


A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 基礎・各階伏図(参考)	No. DⅡ20

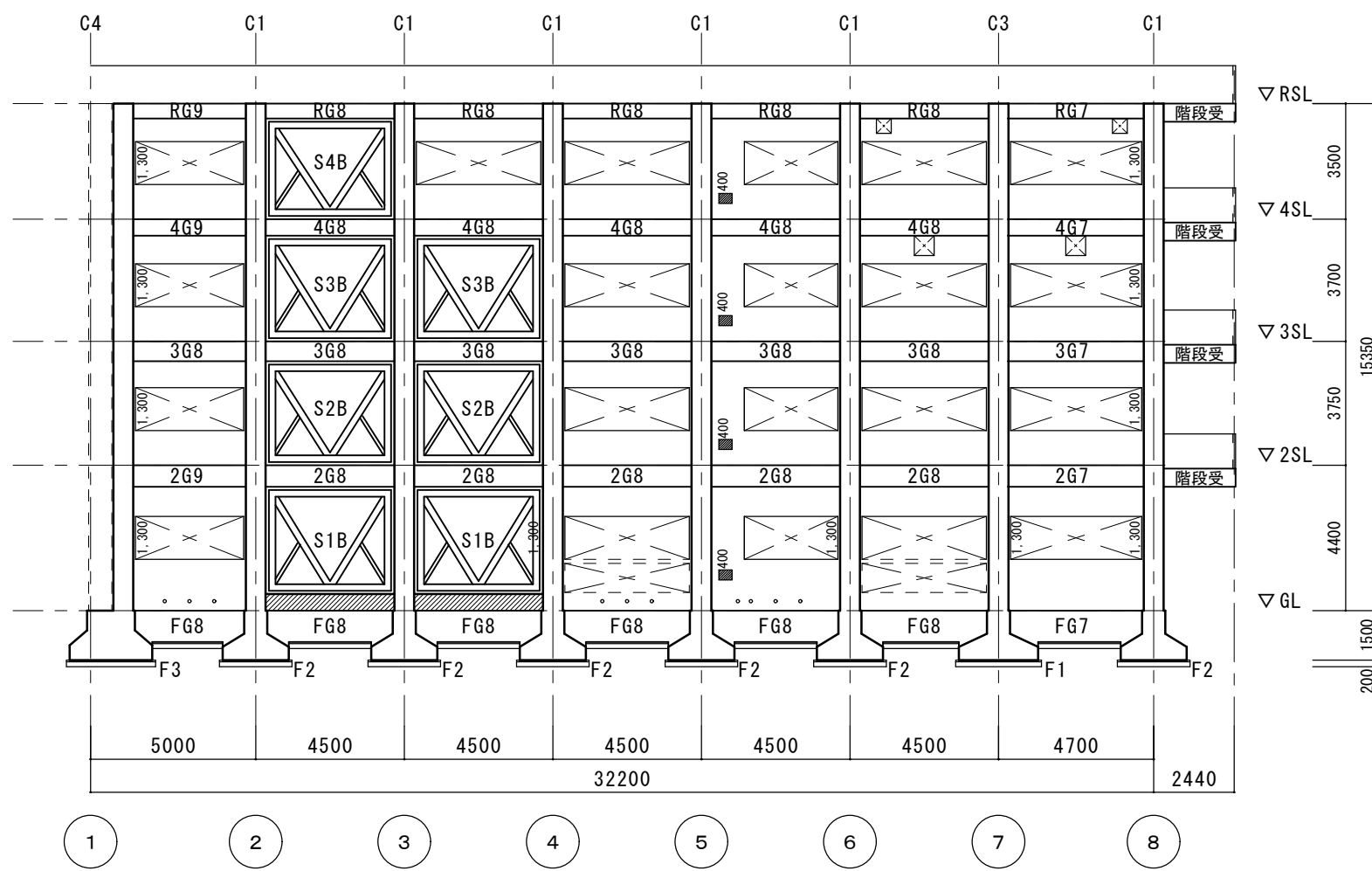




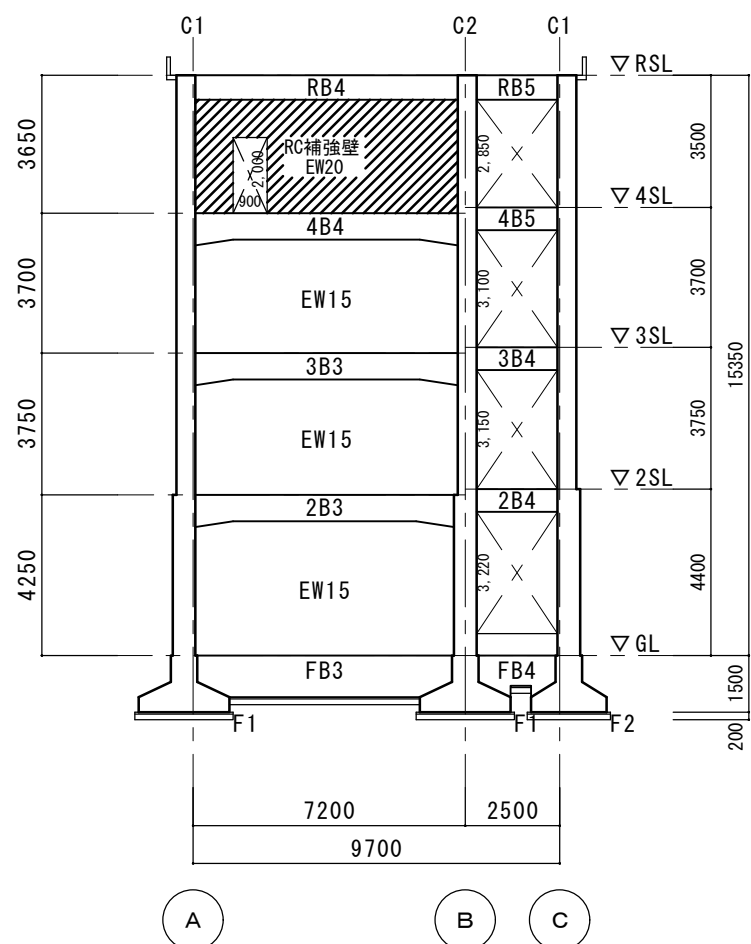
B棟 A通り軸組図 S=1/200 (補強後)  
※明記なき壁は、W12 とする。



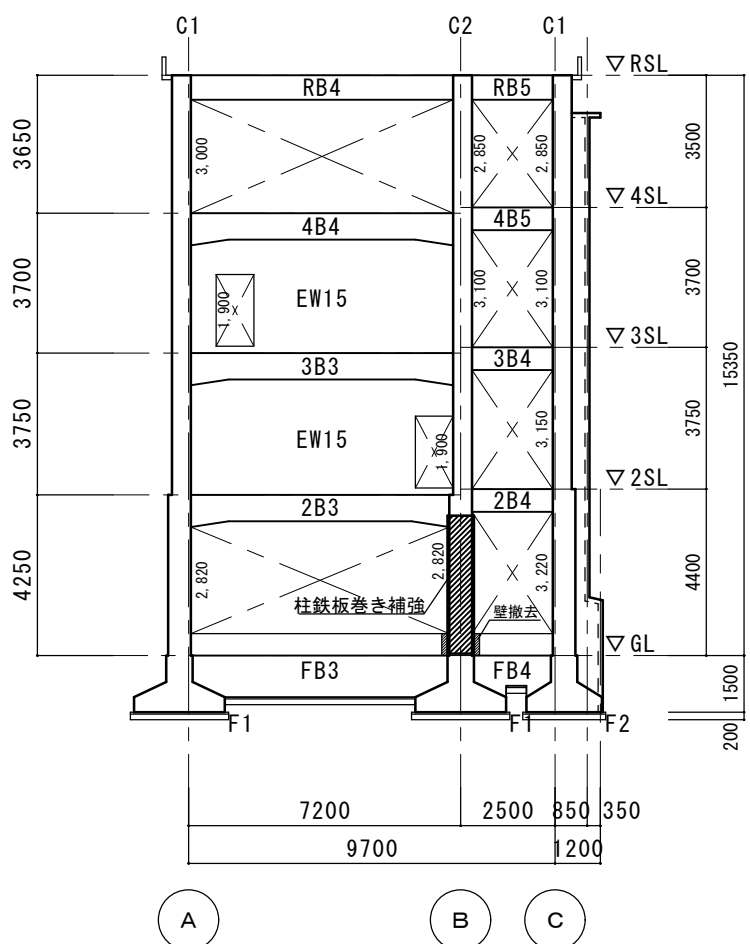
B棟 B通り軸組図 S=1/200 (補強後)  
※明記なき壁は、W12 とする。



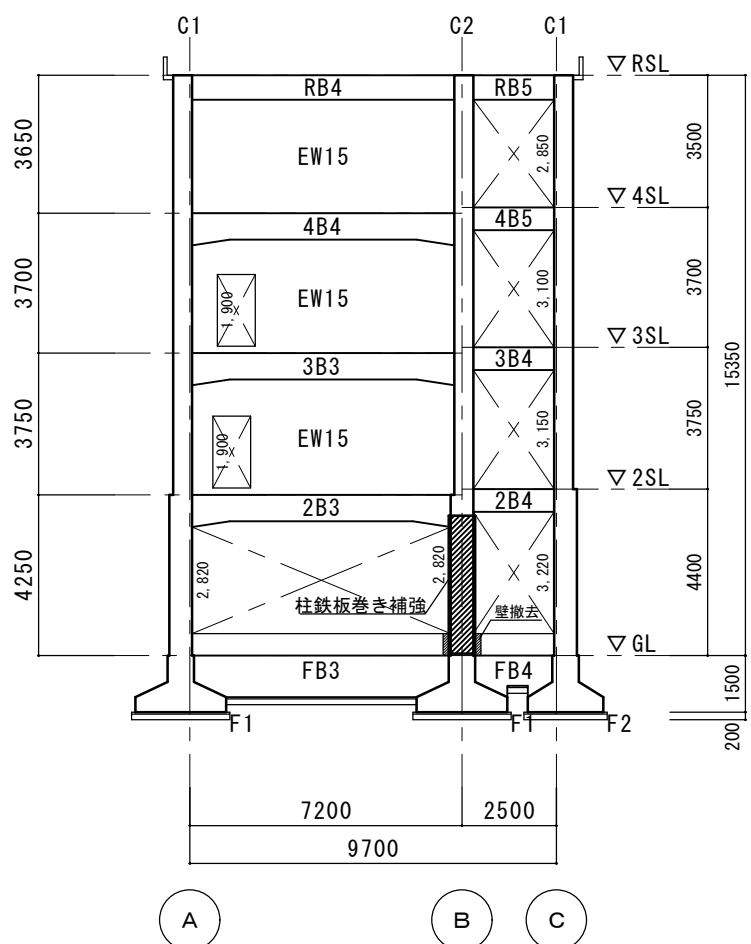
B棟 C通り軸組図 S=1/200 (補強後)  
※明記なき壁は、W12 とする。  
■ ダストシュート開口閉塞



B棟 3通り軸組図 S=1/200 (補強後)



B棟 5通り軸組図 S=1/200 (補強後)

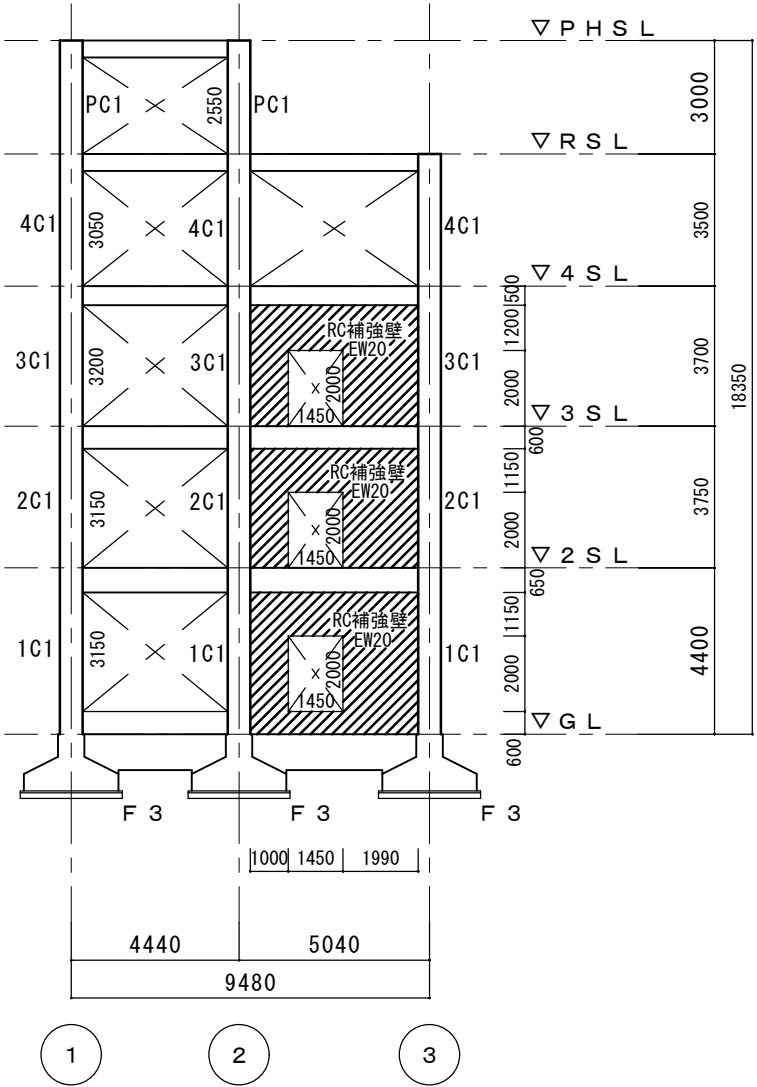


B棟 6通り軸組図 S=1/200 (補強後)

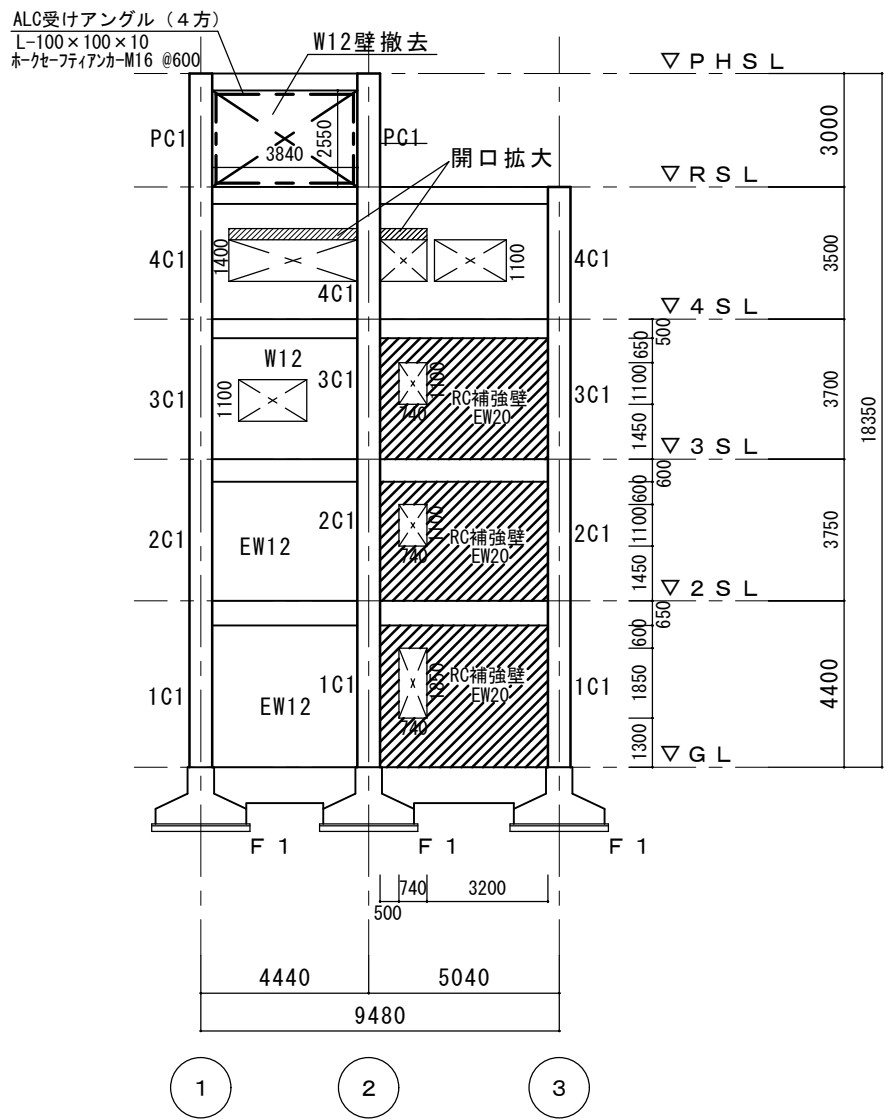
※明記なき通り軸組図は補強を行わない為、略。

	縮 尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 軸組図1 (参考)	No. D II 21

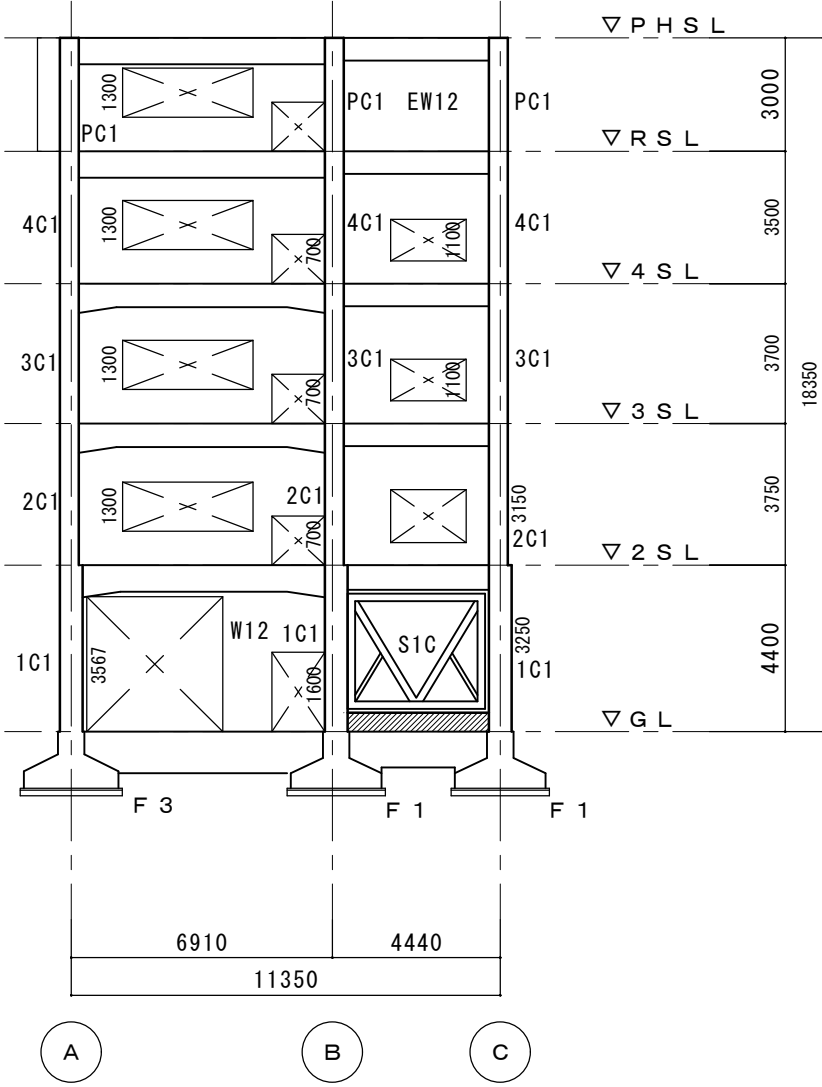




C 棟 A 通り軸組図 S=1/200 (補強後)

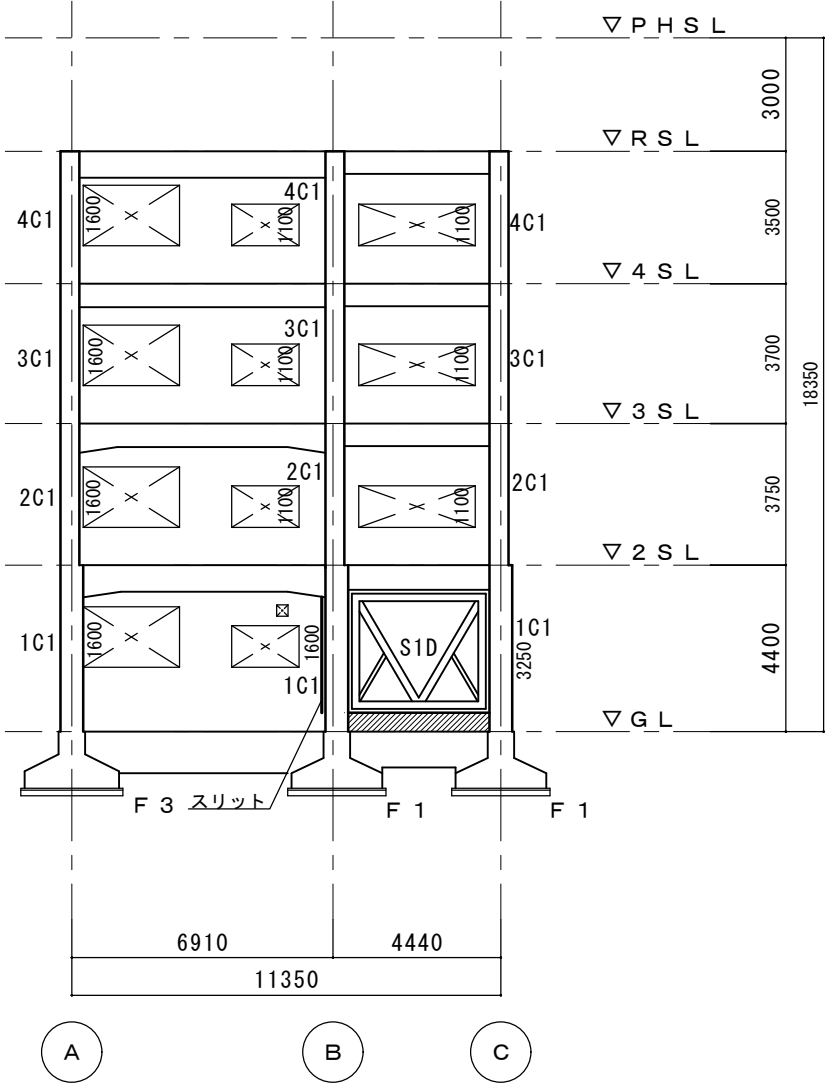


C 棟 C 通り軸組図 S=1/200 (補強後)



C 棟 1 通り軸組図 S=1/200 (補強後)

※1階の補強ブレース下は地中梁を打増す。



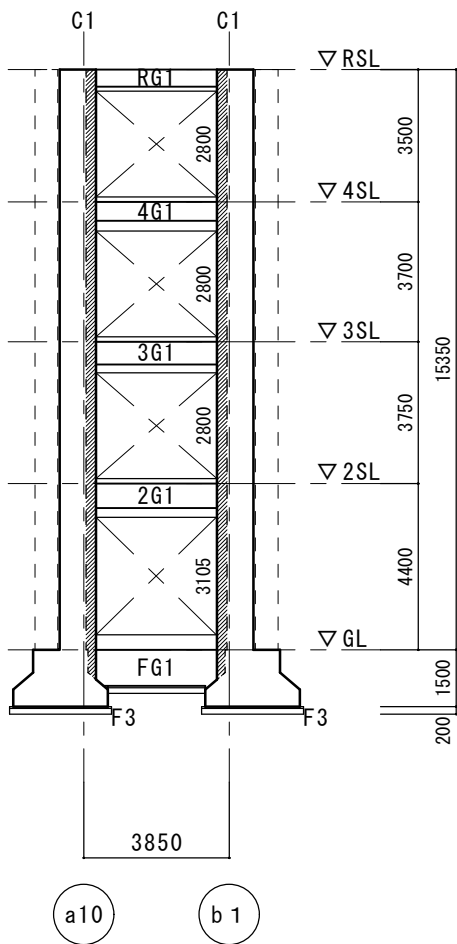
C 棟 3 通り軸組図 S=1/200 (補強後)

※1階の補強ブレース下は地中梁を打増す。

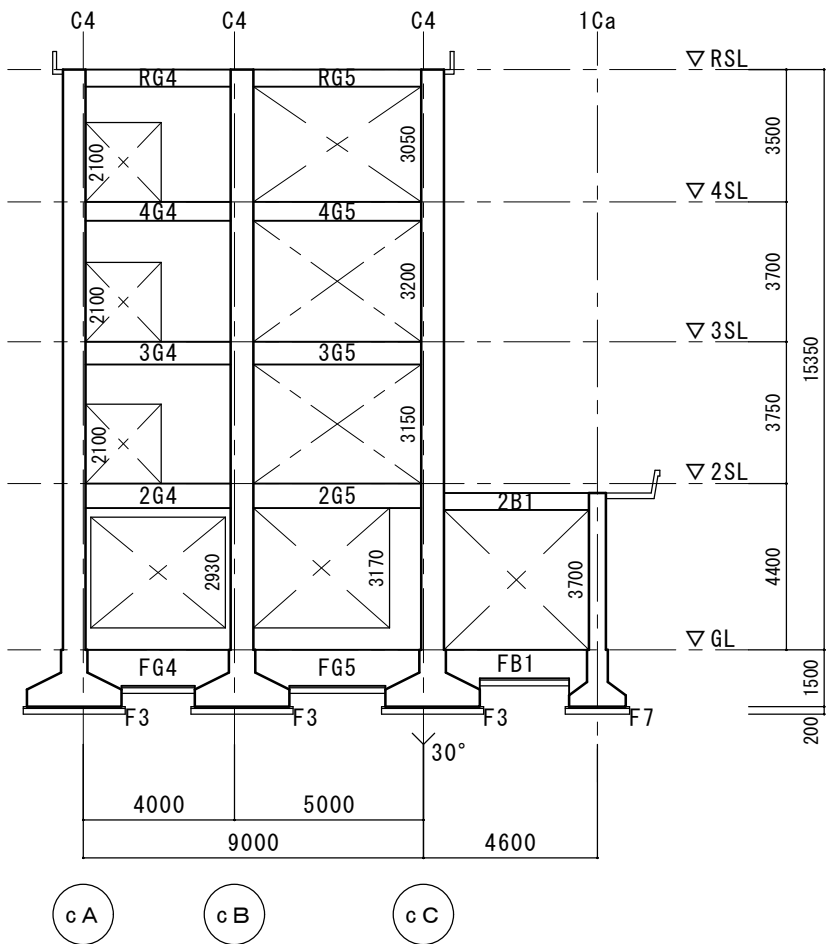
※明記なき通り軸組図は補強を行わない為、略。

	縮 尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 軸組図2 (参考)	No. D II 22

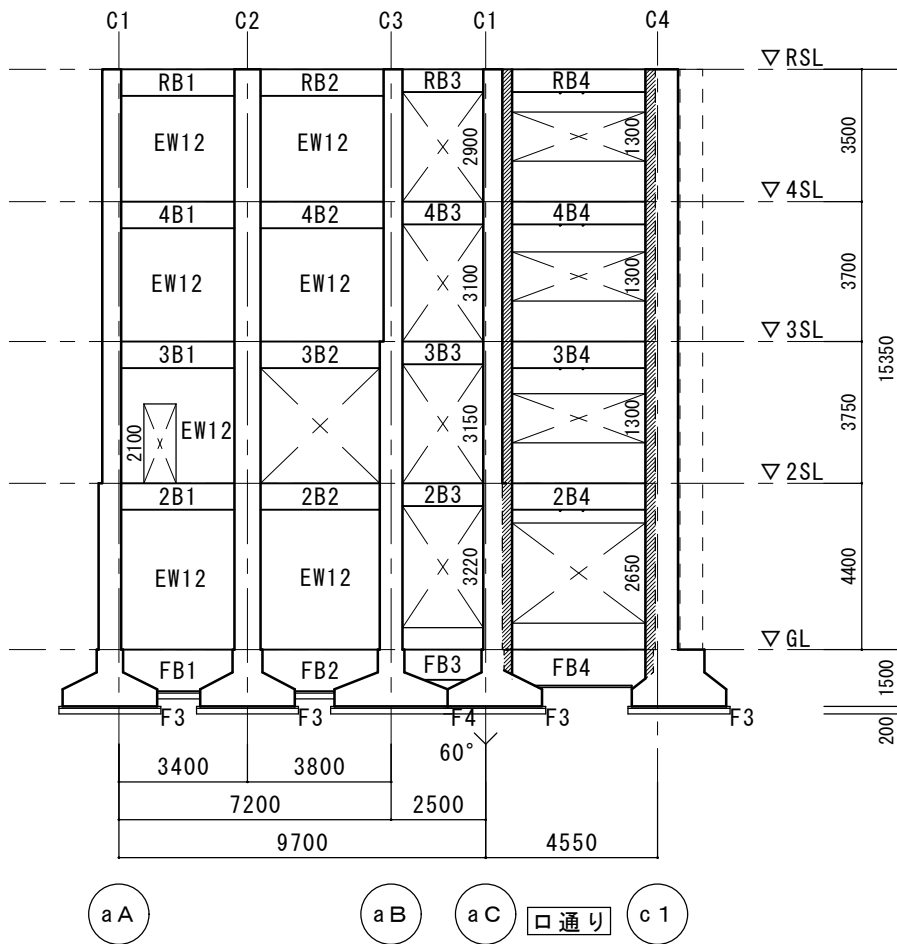




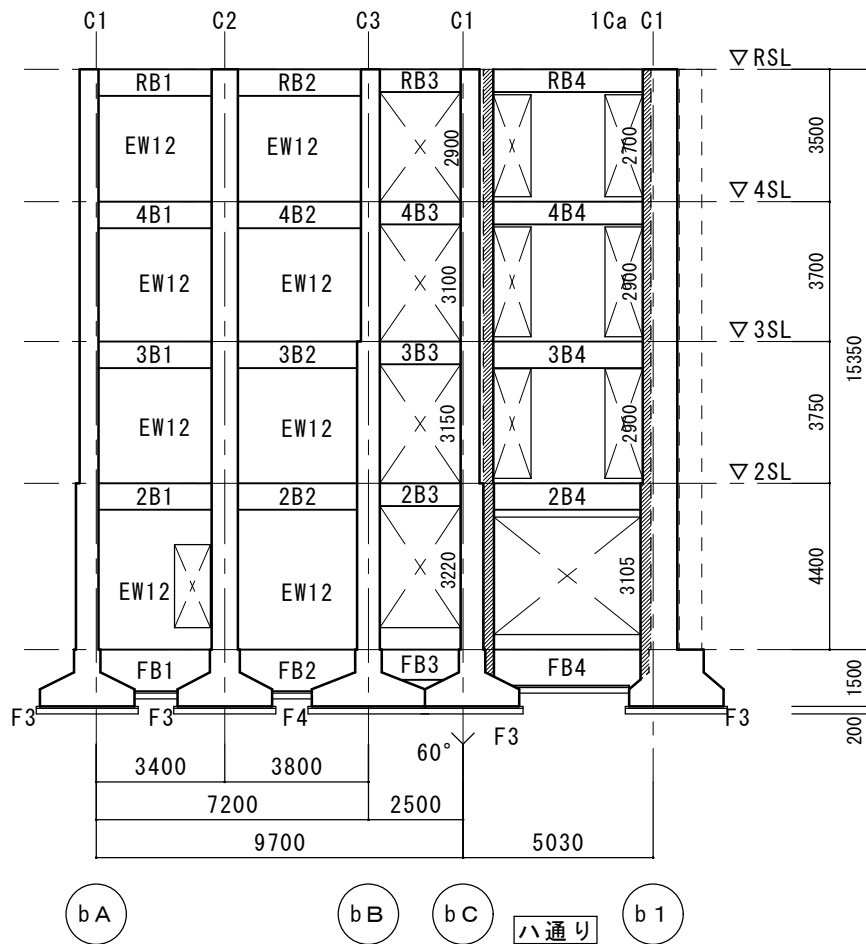
D 棟 イ 通り 軸組図 S=1/200  
※明記なき壁は、W12 とする。



D 棟 C棟 c 1 通り 軸組図 S=1/200  
※明記なき壁は、W12 とする。



D 棟 A棟 a10通り 軸組図 S=1/200  
※明記なき壁は、W12 とする。

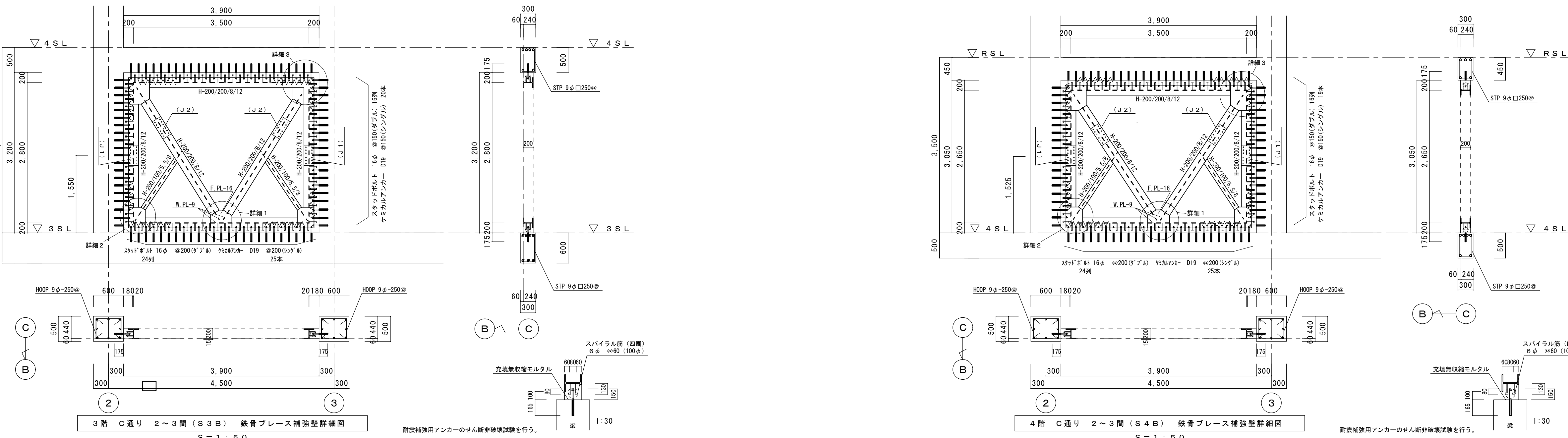
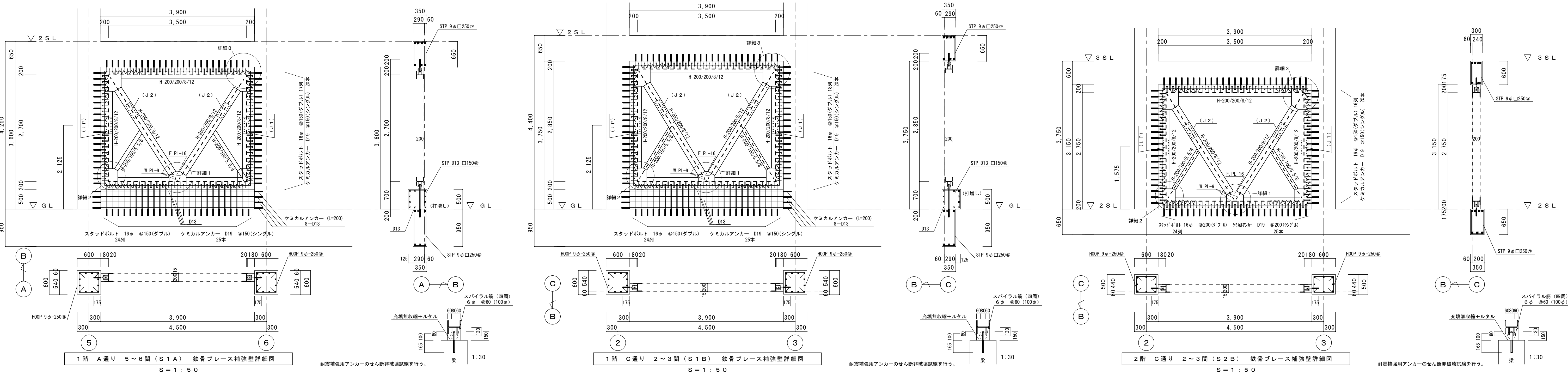


D 棟 B棟 b 1 通り 軸組図 S=1/200  
※明記なき壁は、W12 とする。

※D棟は補強壁による補強は行わない為、補強後軸組図は省略する。  
(スラブ接合プレート補強のみ)

縮 尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 軸組図3 (参考)	No. D II 23

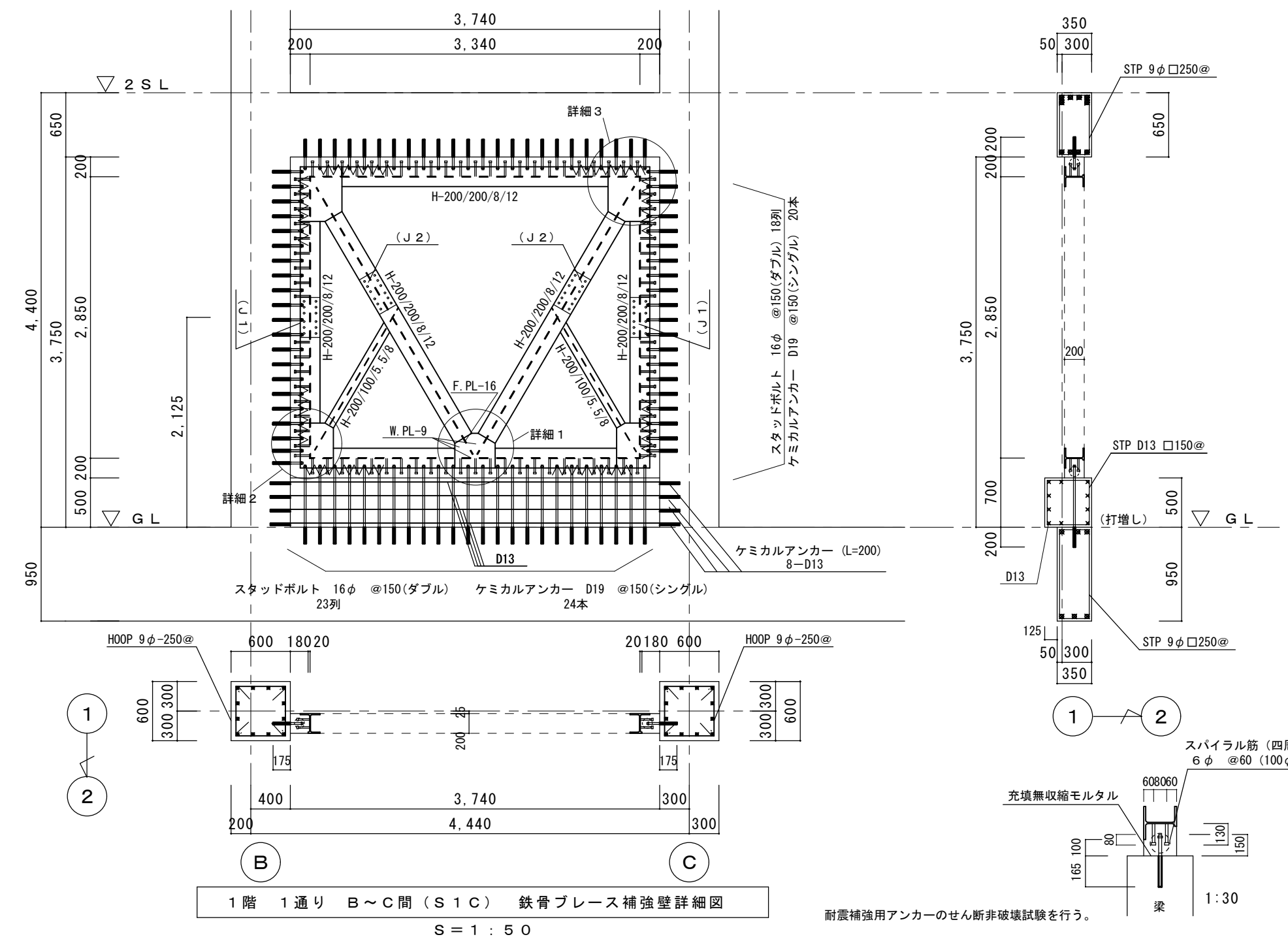
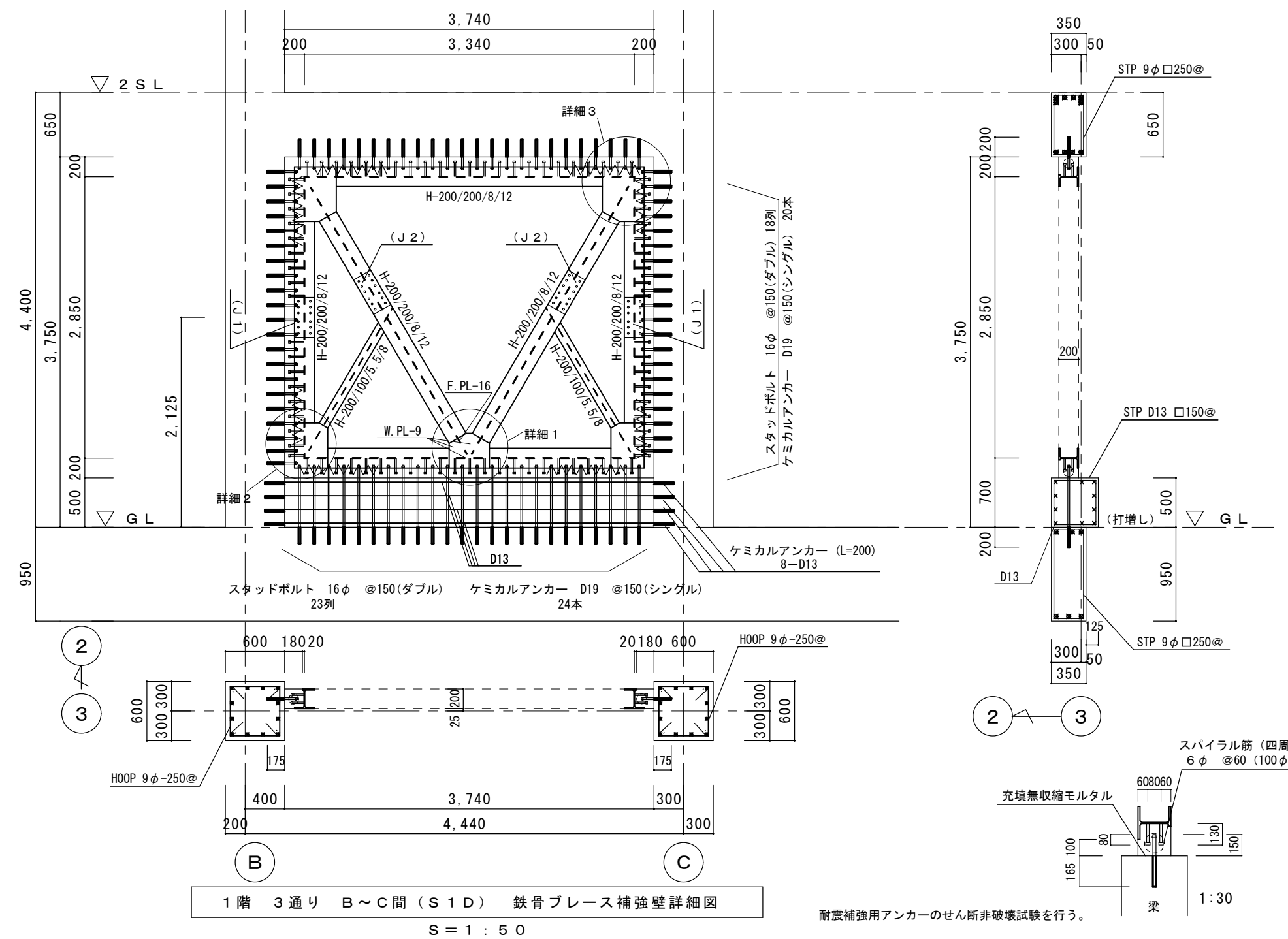




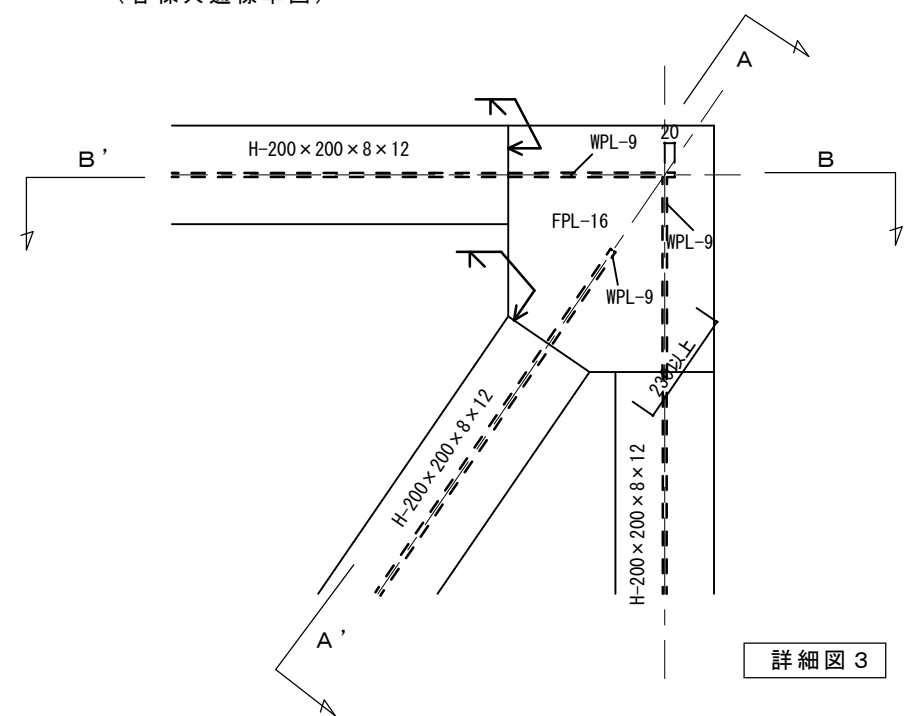
S 3 A、S 4 A 鉄骨ブレース寸法は S 3 B に同じ、S 3 B に倣う事

	縮 尺 A1： 1:50 A3：表記の50%	物件名称	御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分	建築意匠
		図面名称	既存校舎 鉄骨ブレース詳細図1（参考）	No.	DⅡ24

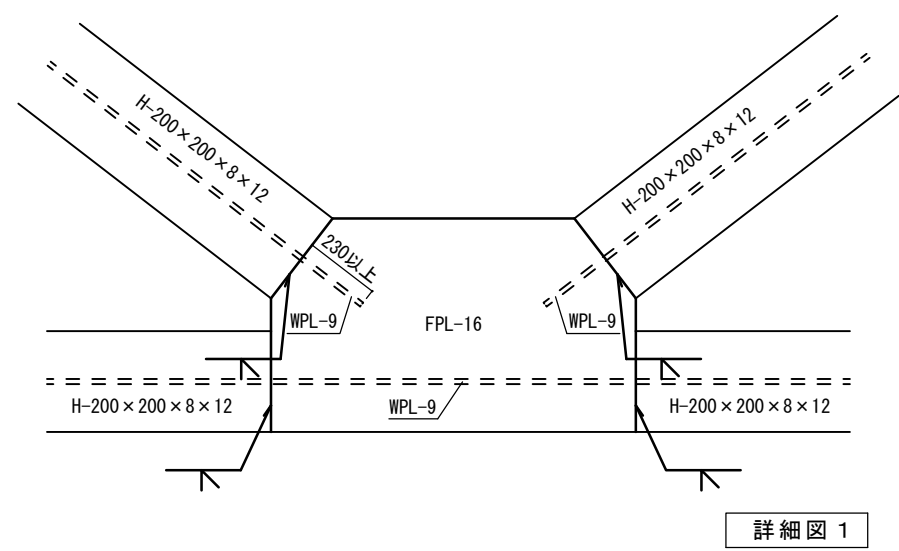
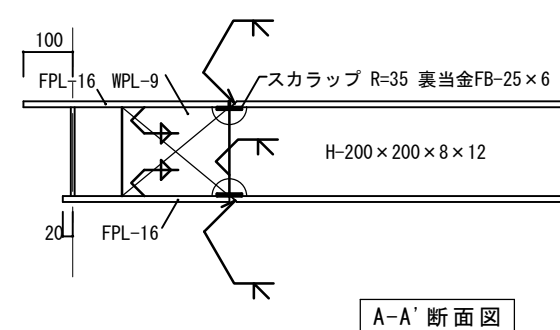




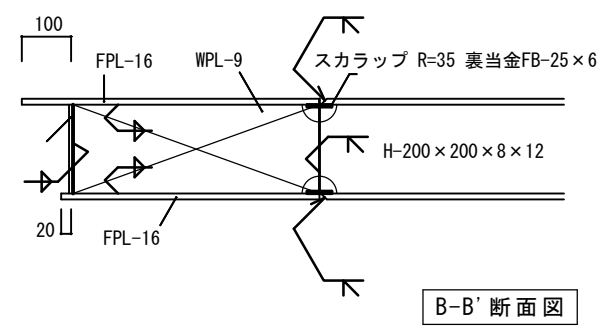
パネル部詳細図 S=1/15  
(各棟共通標準図)



※ 詳細図2は上記に倣う



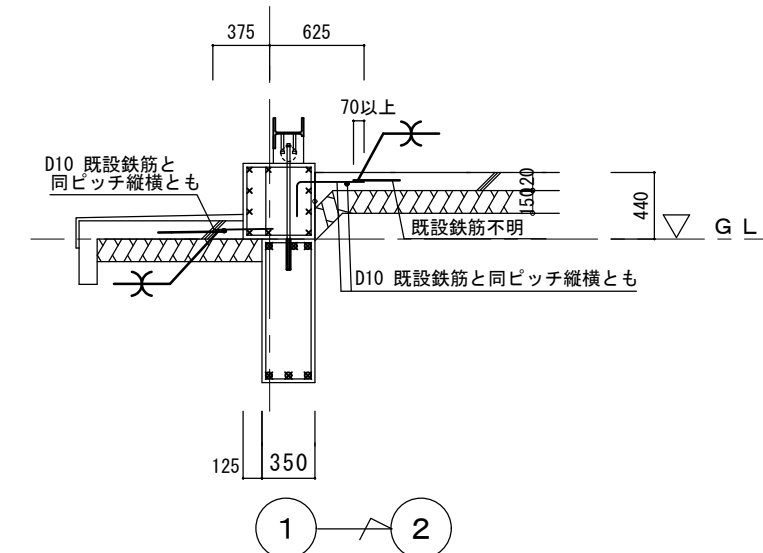
詳細図1



補強ブレース JOINT詳細図  
(各棟共通標準図)

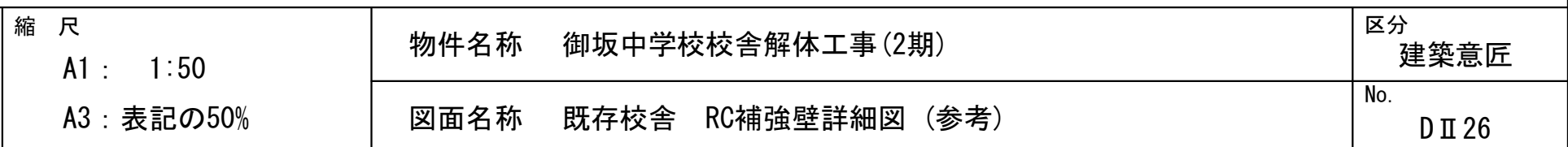
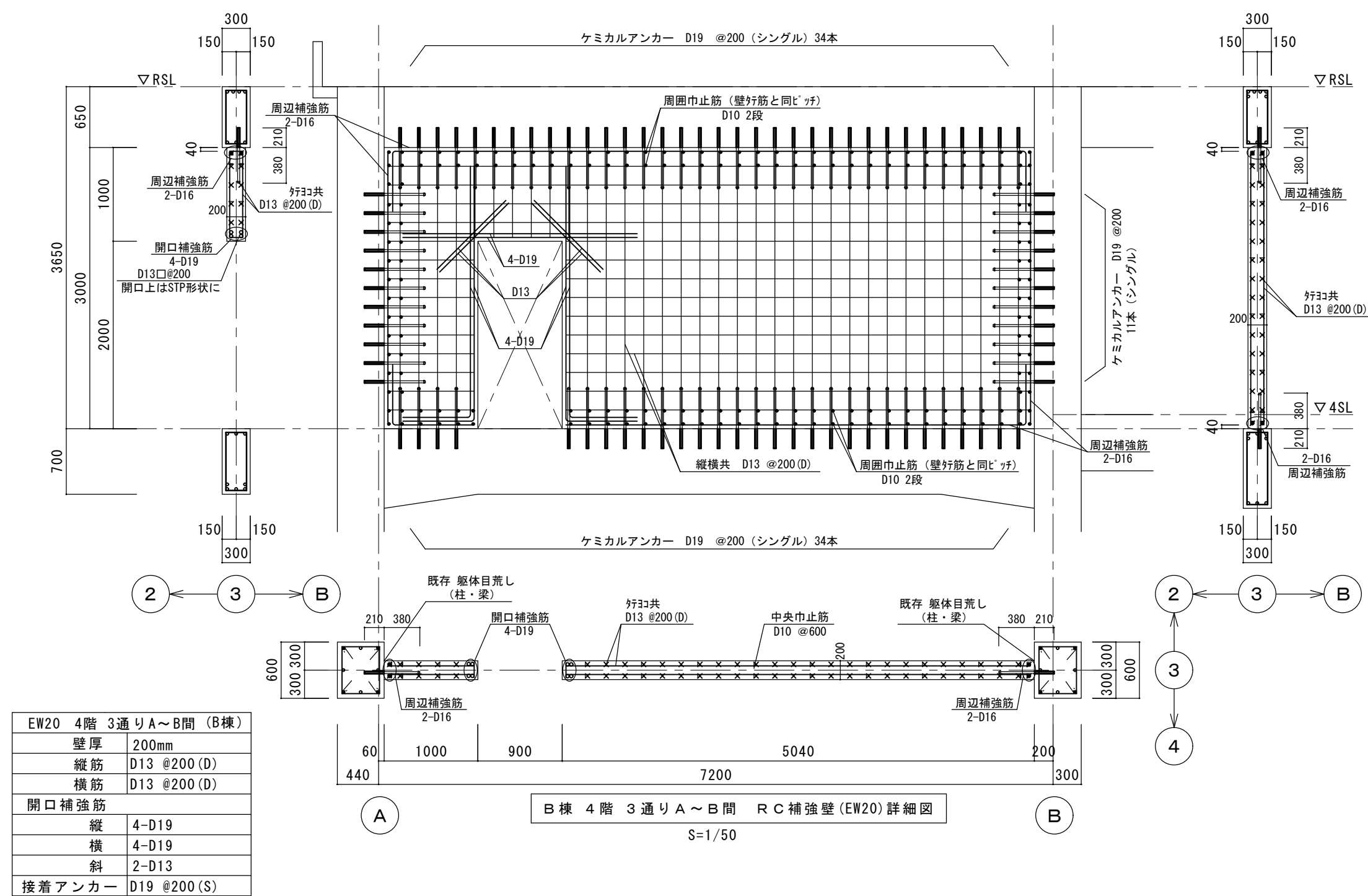
J 1	H-200×200×8×12		S=1:30	
		e = 40	b = 60	p = 70
接合部	高力ボルト	添え板		数量
フランジ	18-M20	外	9/194/405	1
		内	9/70/405	4
ウエブ	4-M20		9/225/140	2

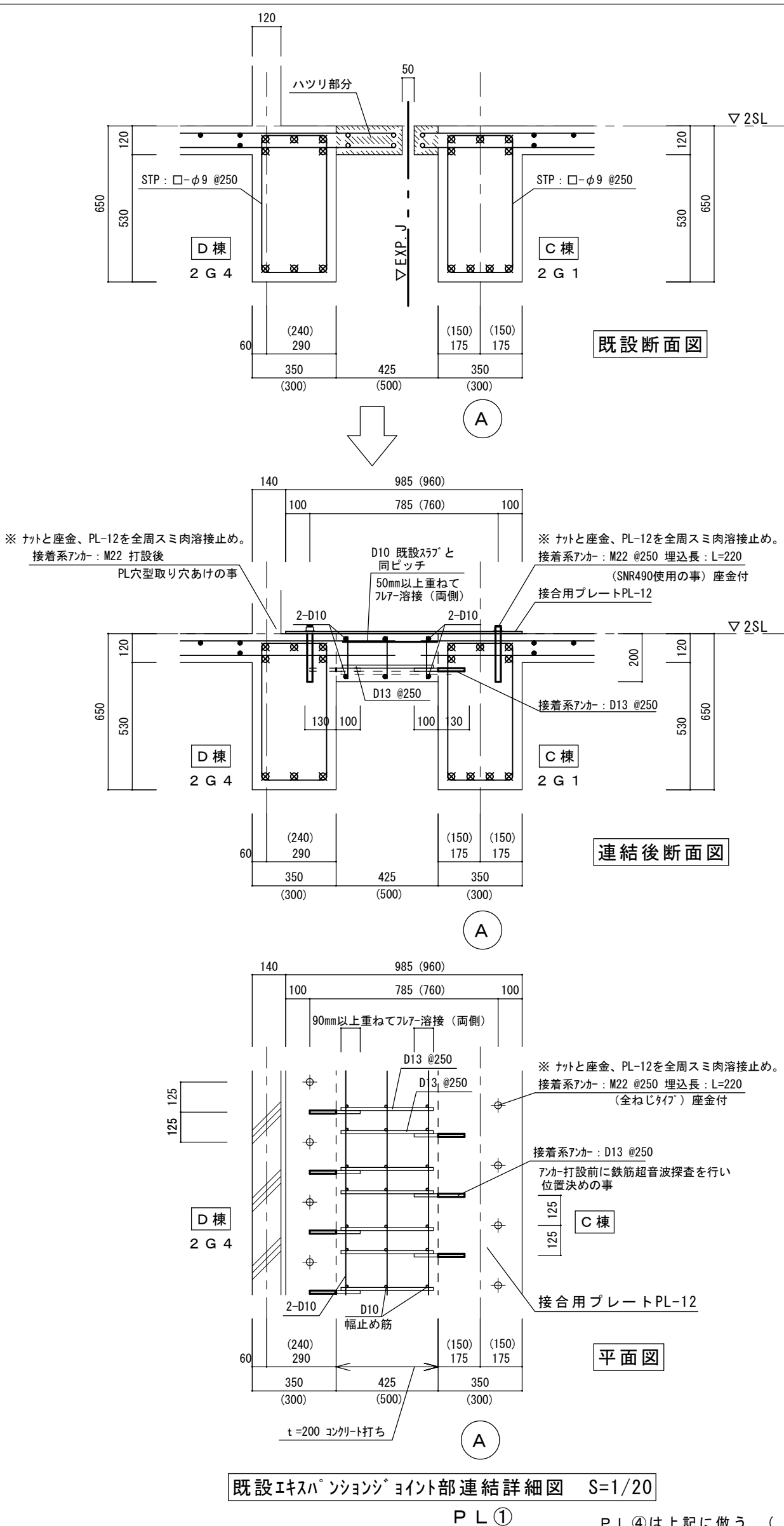
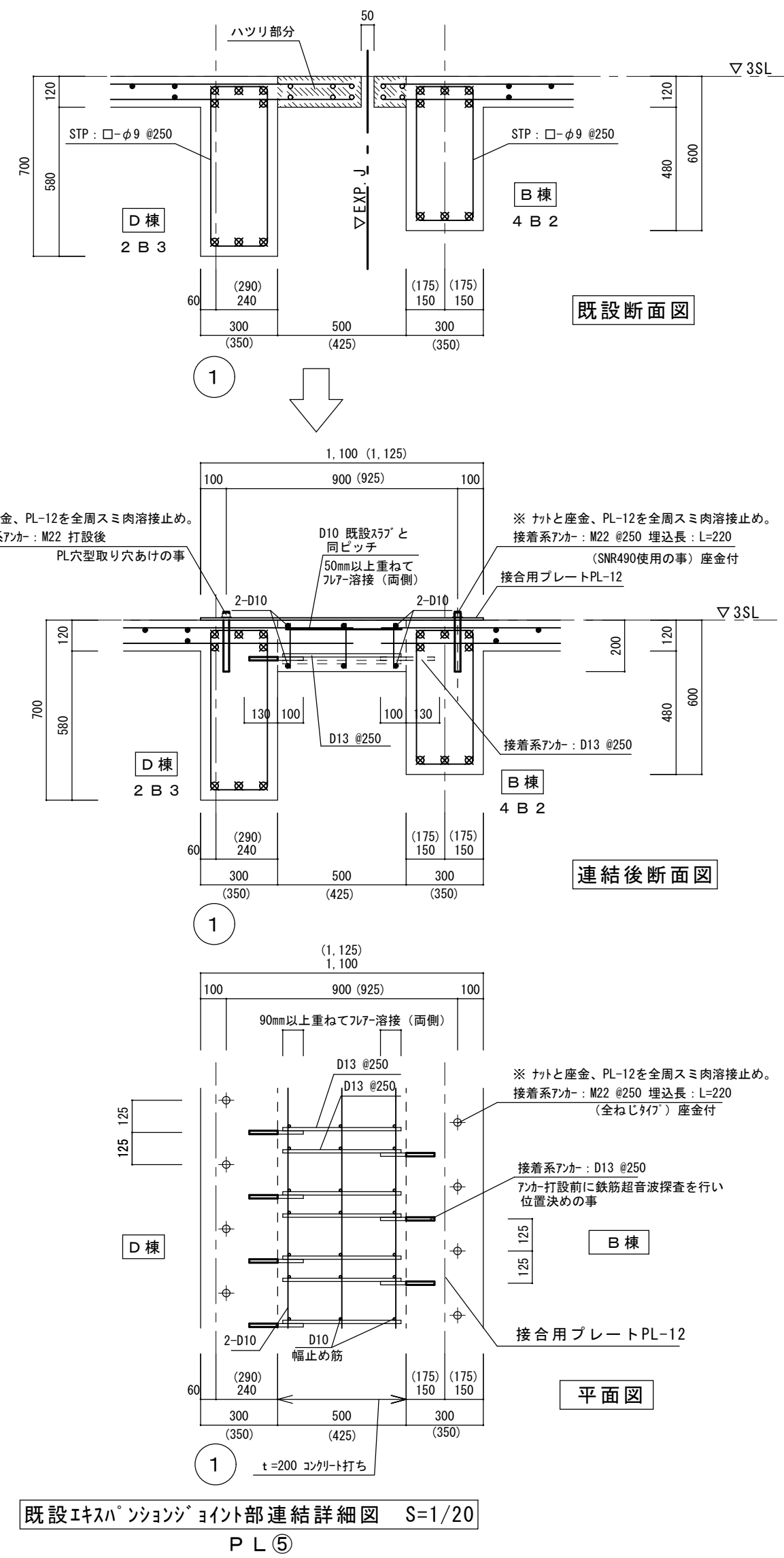
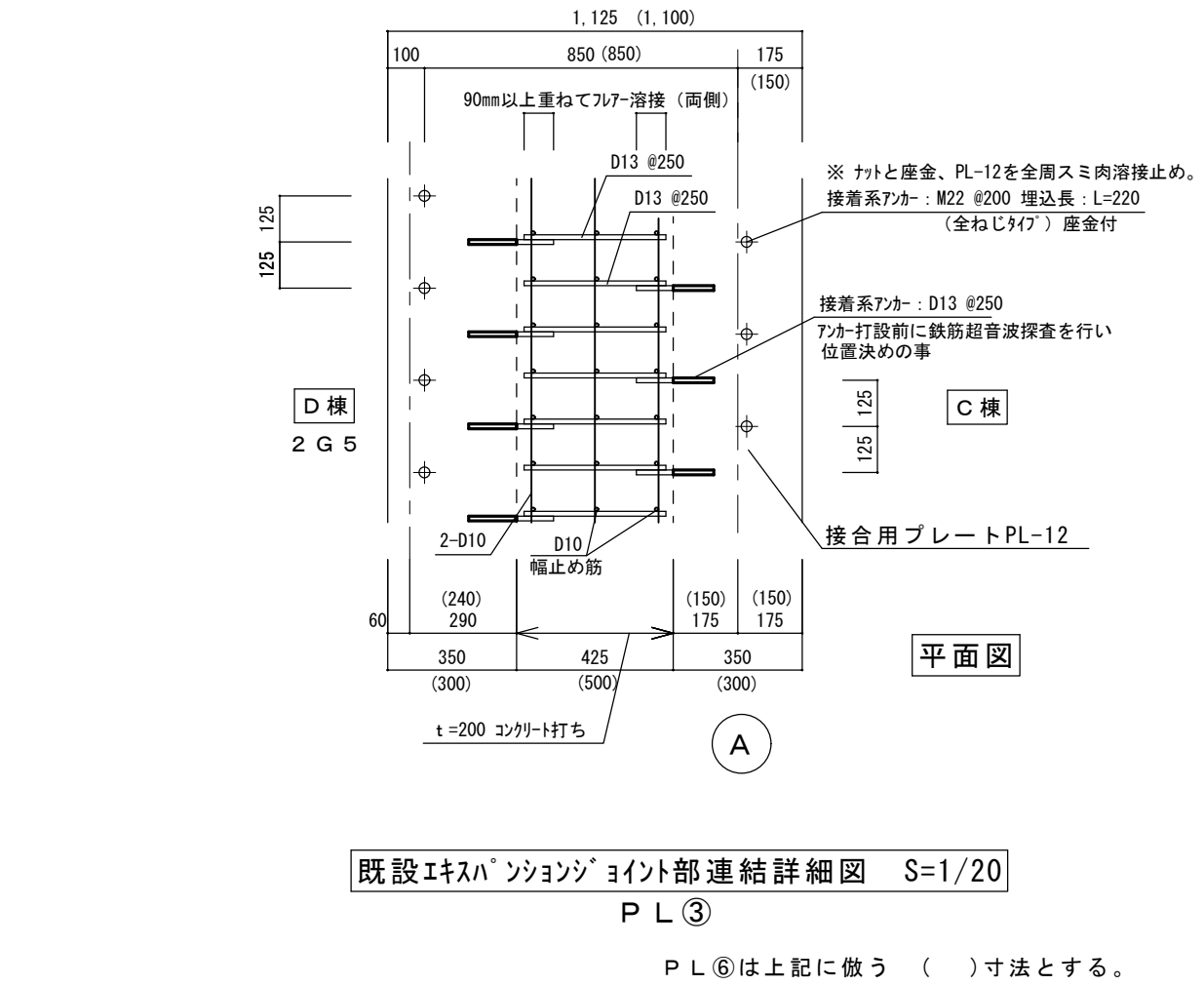
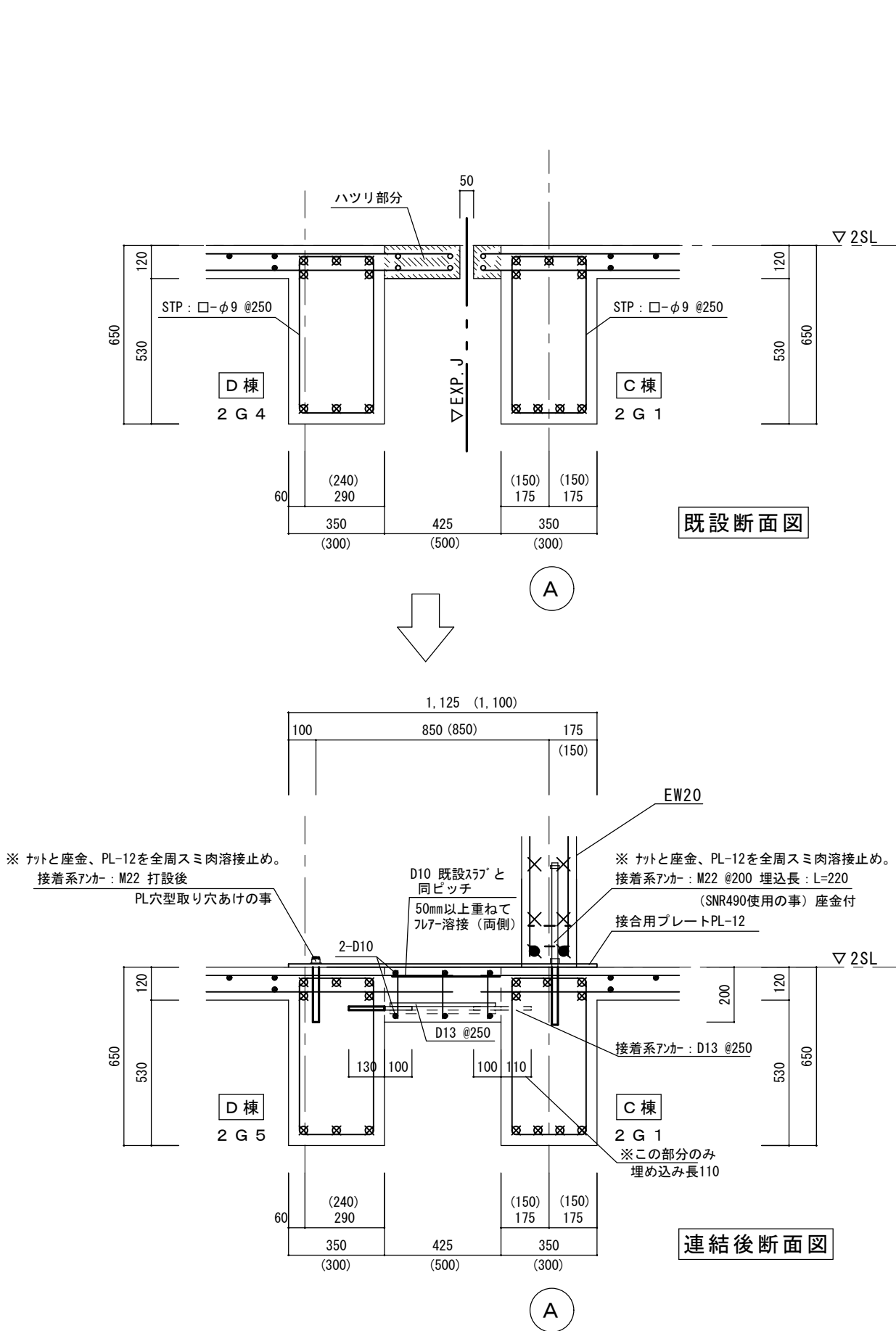
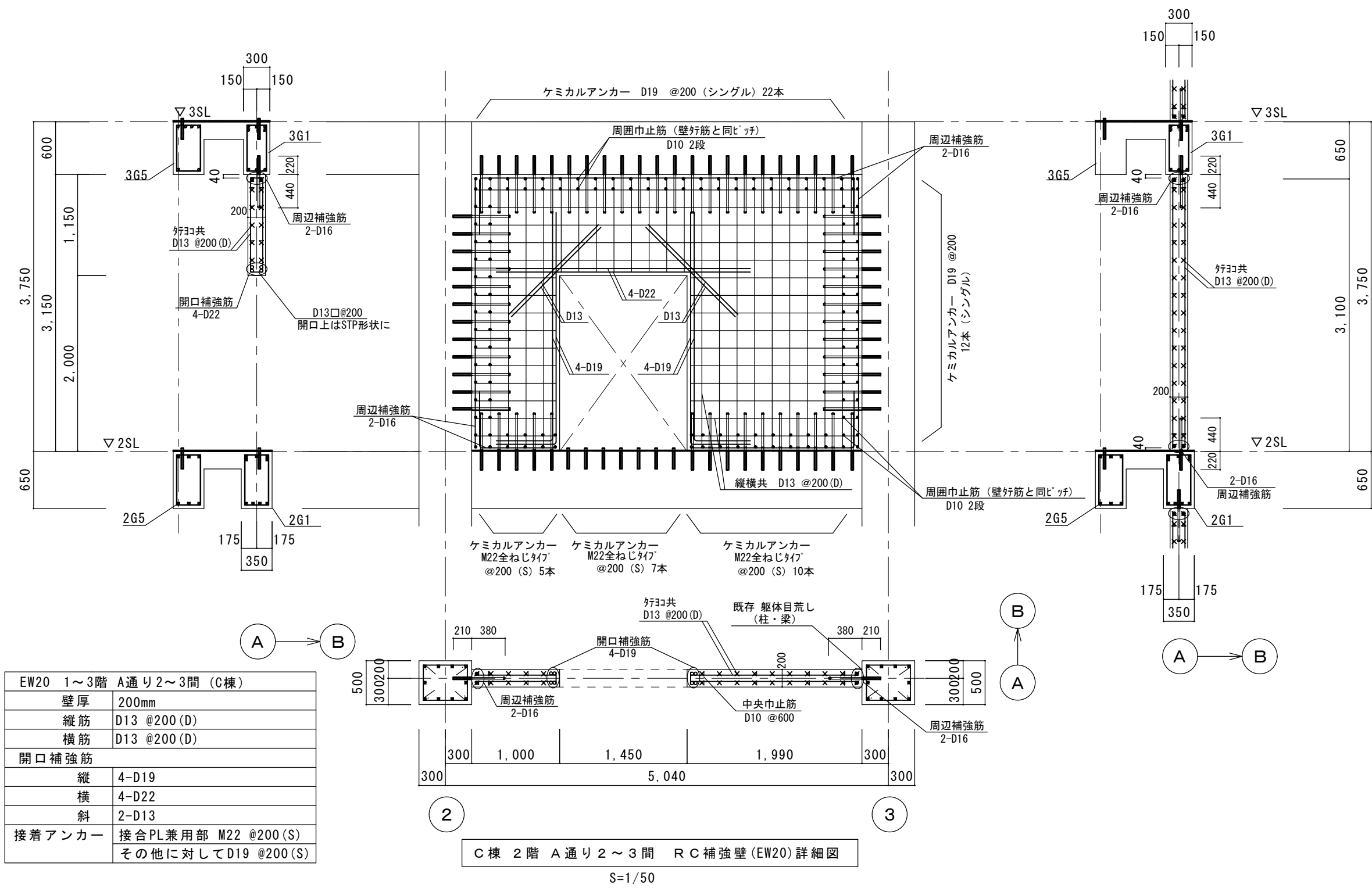
J 2	H-200×200×8×12		S=1:30	
接合部		高力ボルト	添え板	
フランジ	24-M20	外	9/194/405	数量
		内	9/70/405	
ウェブ	4-M20	9/225/140		2



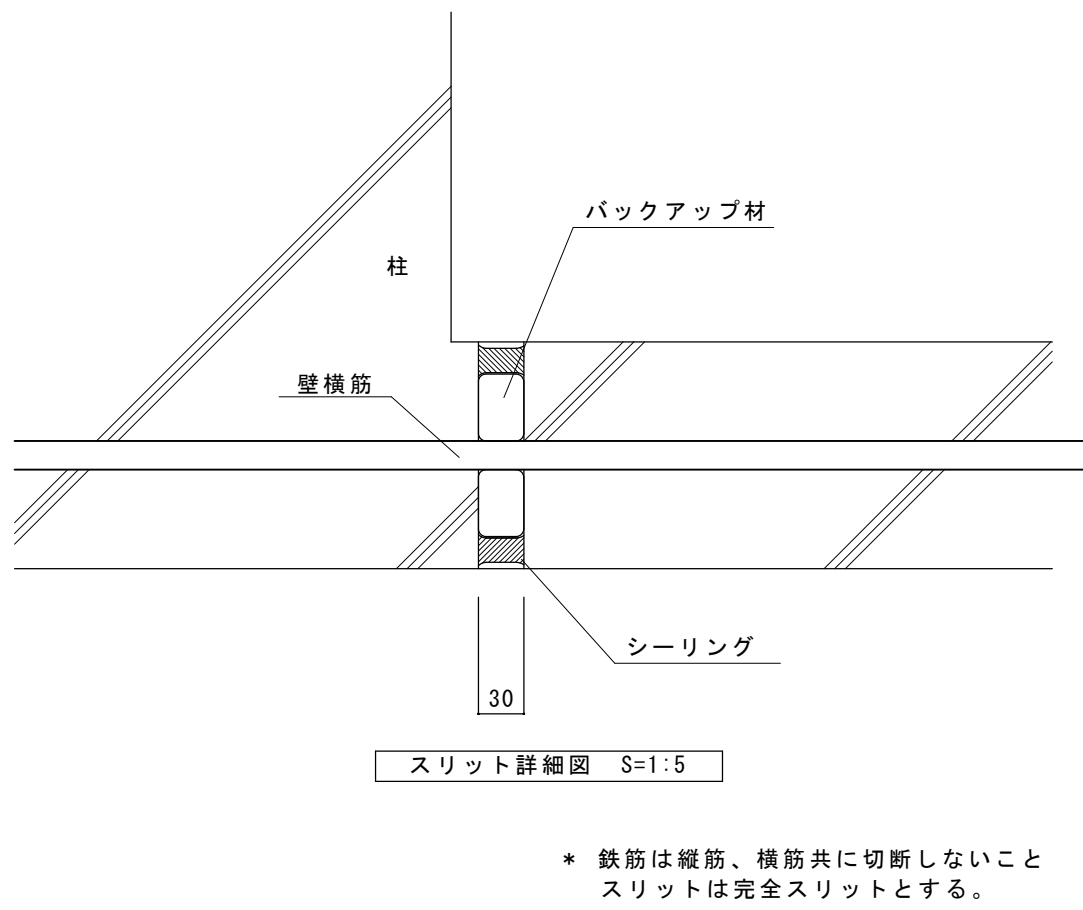
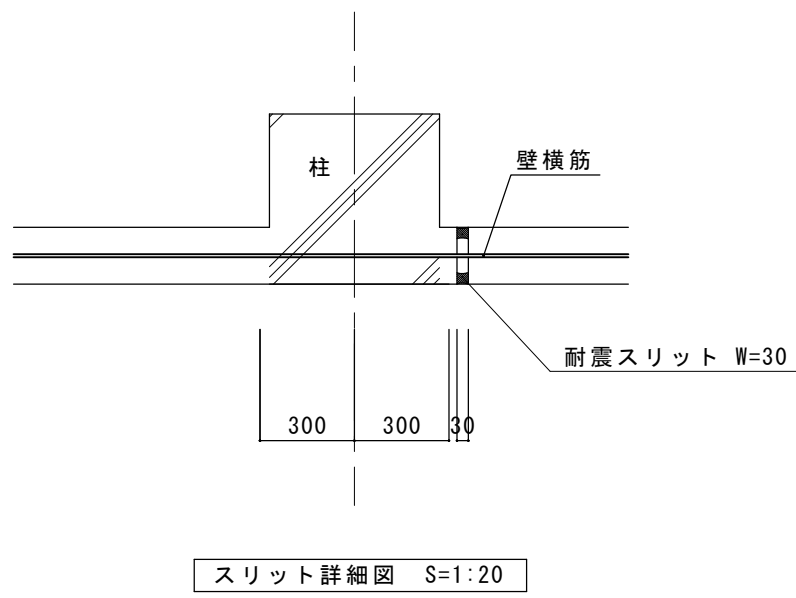
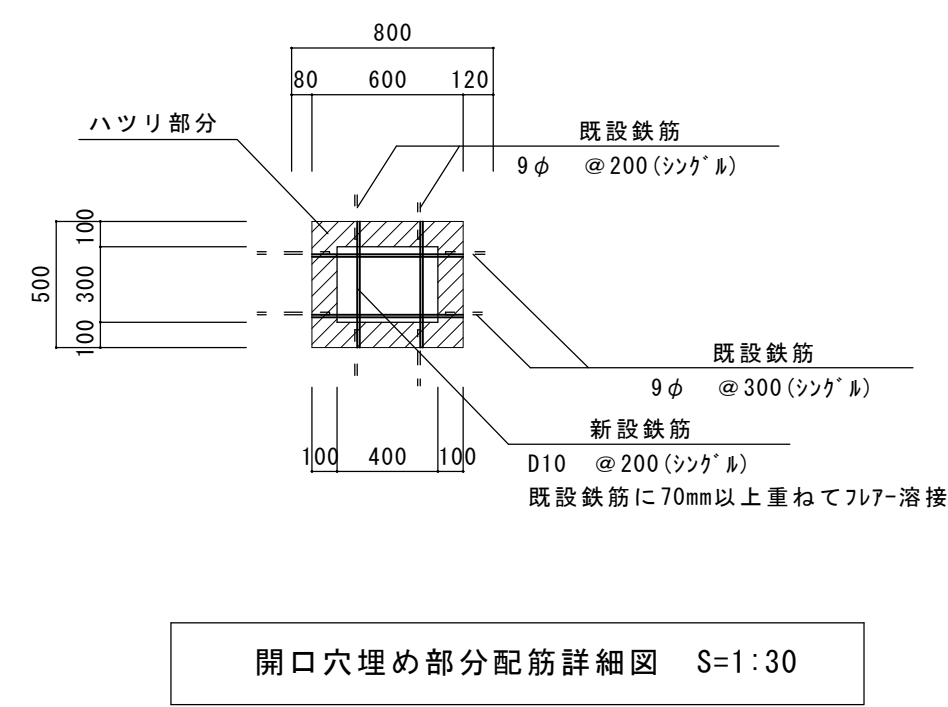
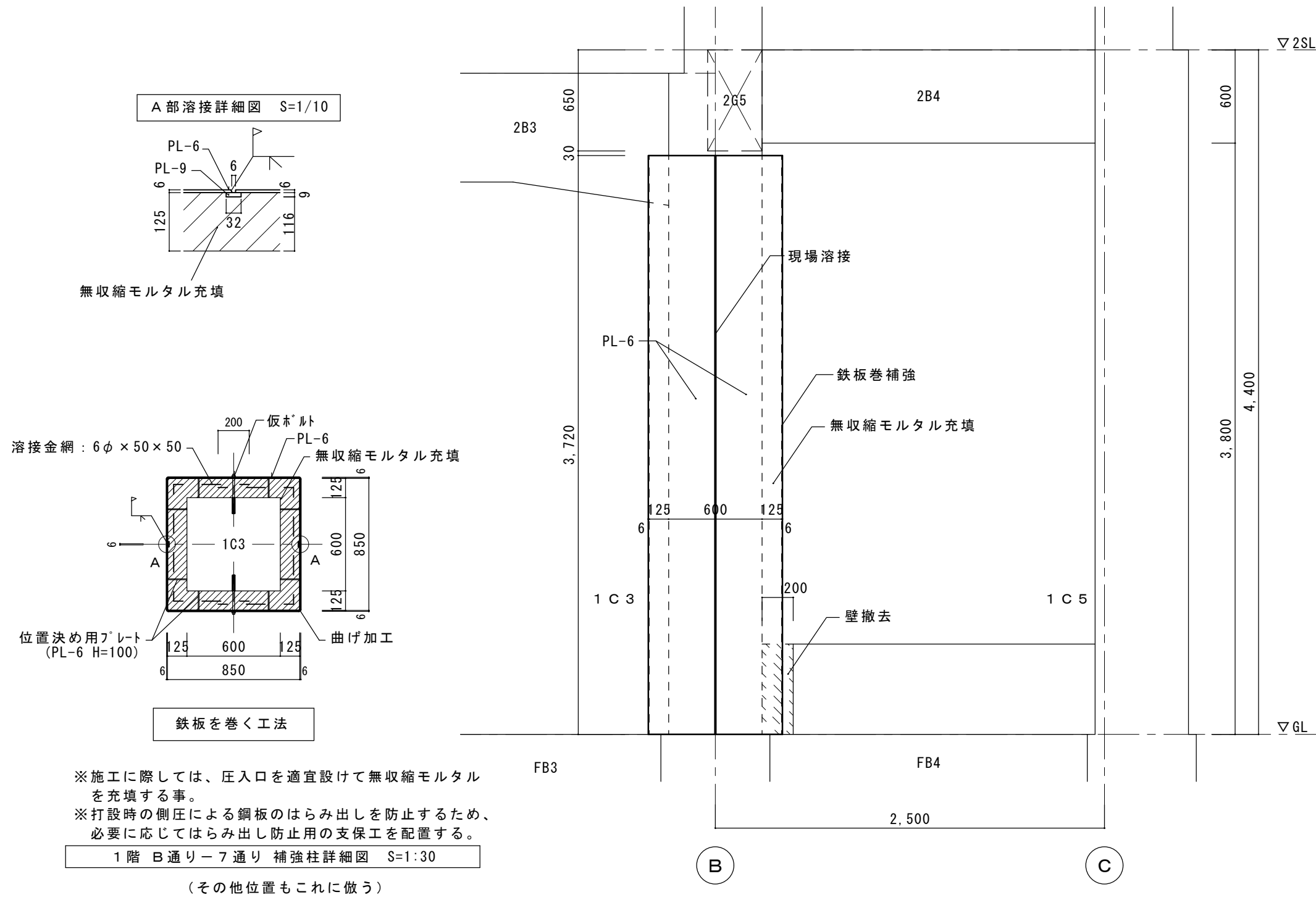
土間、犬走り復旧部分 S=1:50





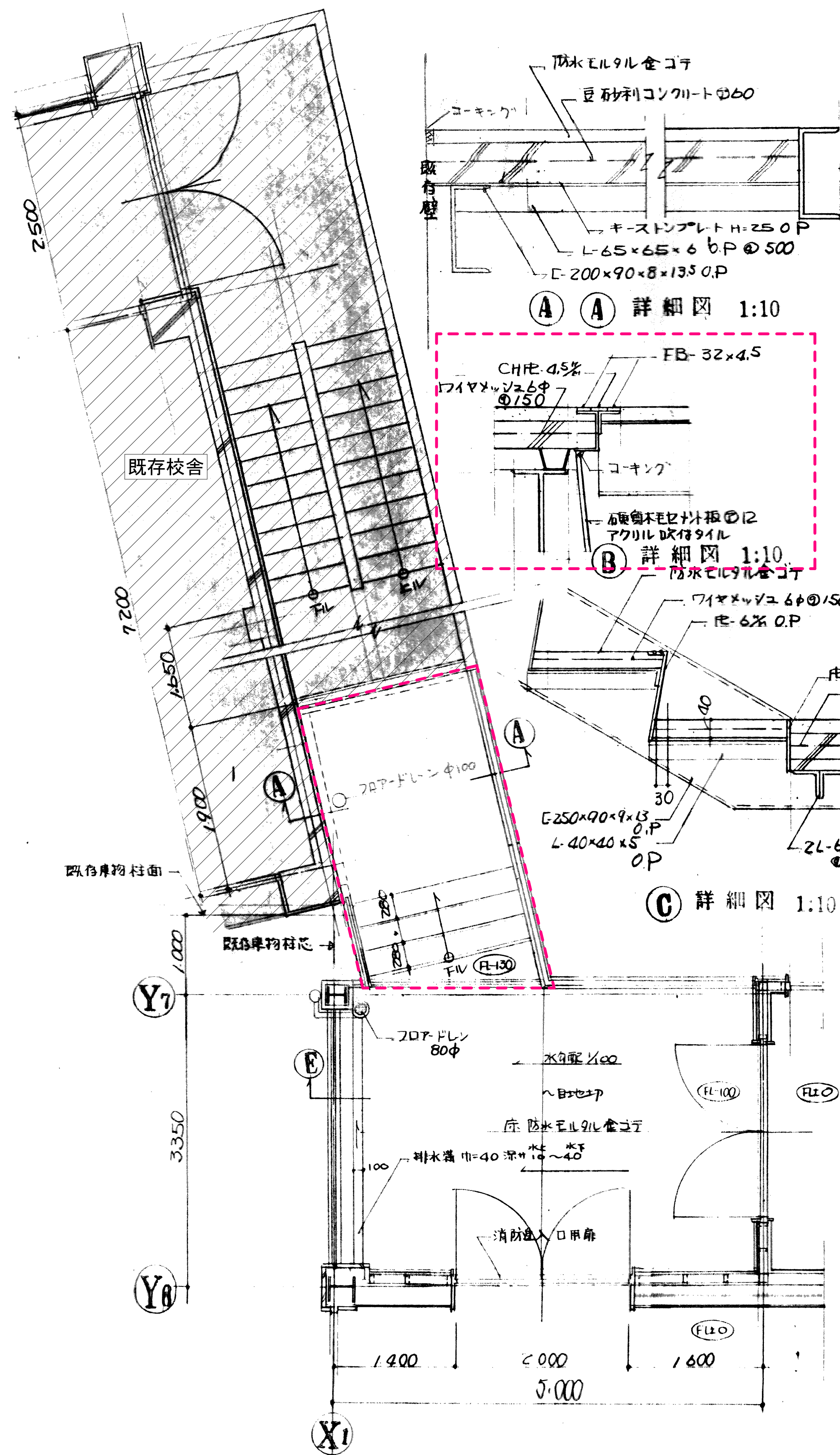




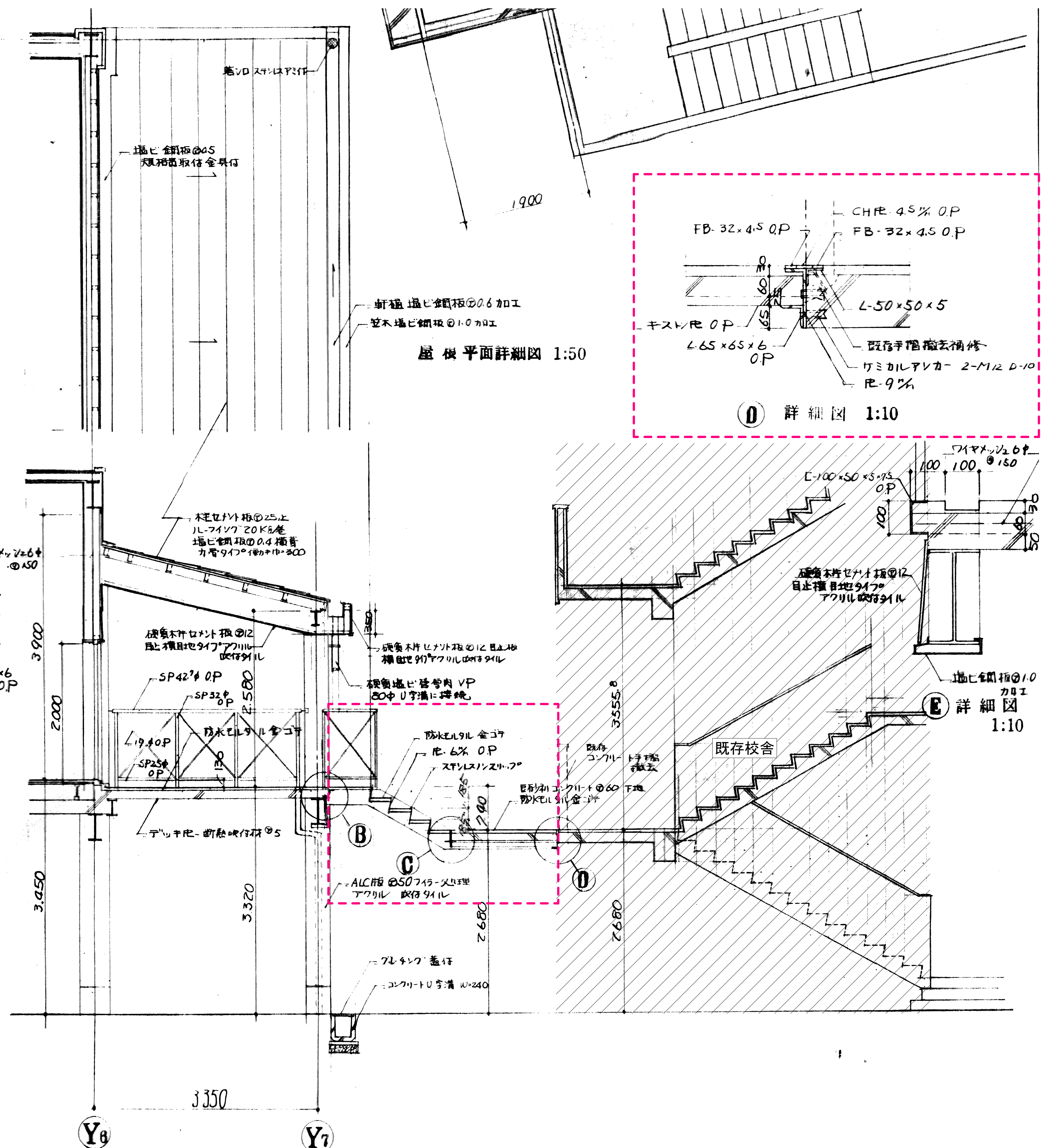


	縮 尺 A1 : A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事 (2期)	区分 建築意匠
		図面名称 既存校舎 雑詳細図 (参考)	No. D II 28





2階平面詳細図 1:50



断面詳細図 1:50

縮尺 A1: A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校校舎解体工事(2期)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 柔剣道所用接続渡り廊下	No. D II 29





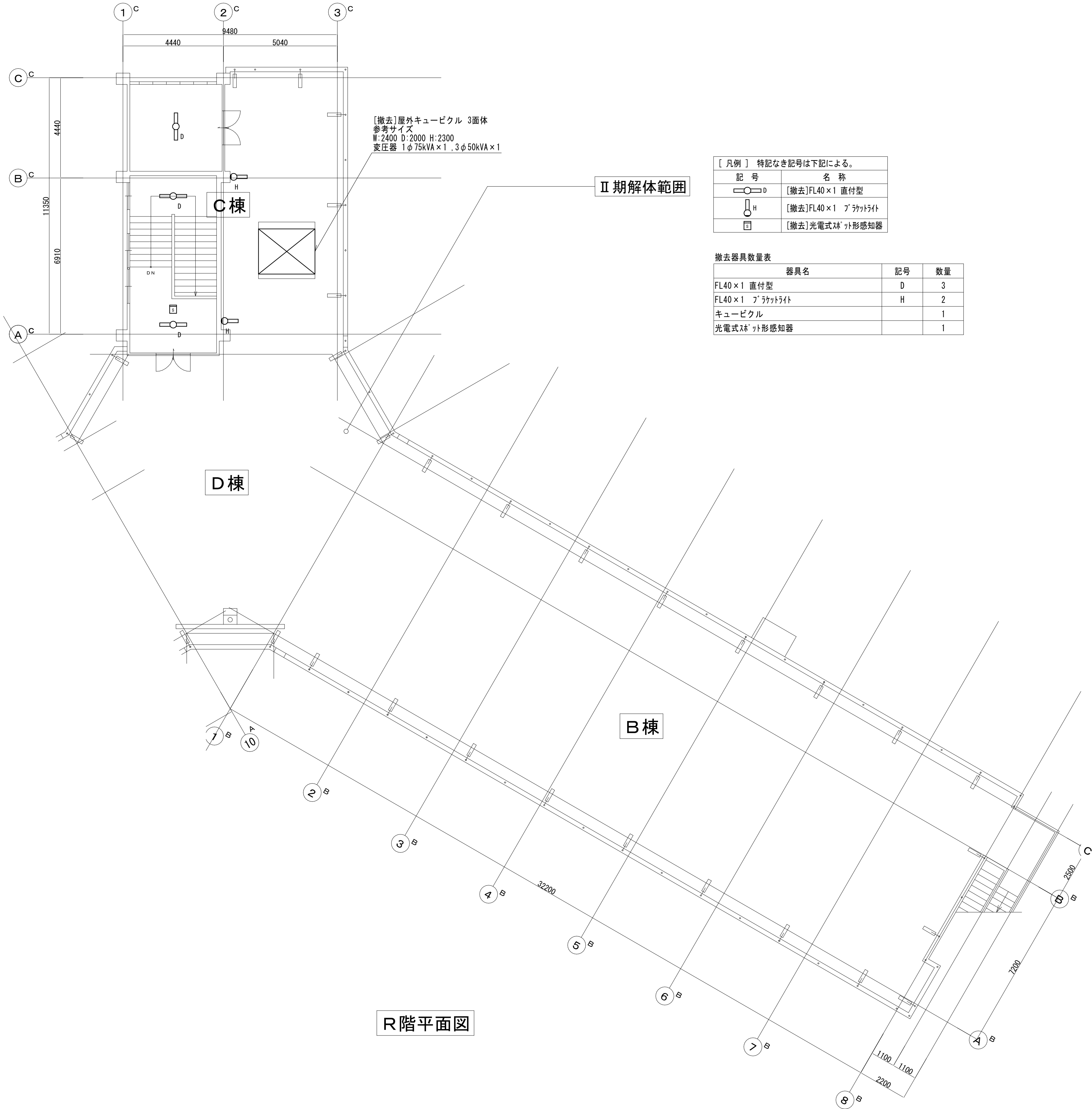




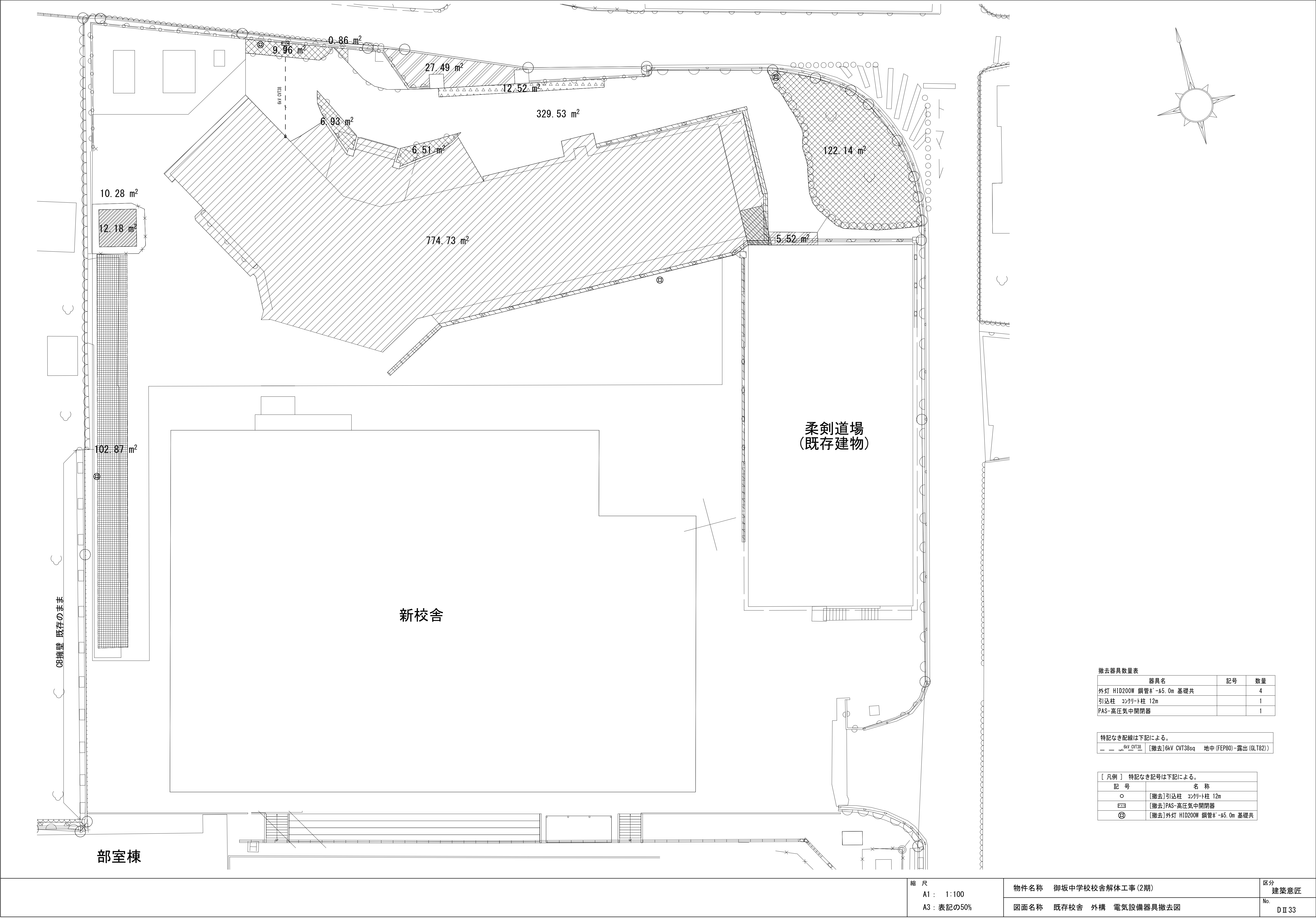
[ 凡例 ] 特記なき記号は下記による。	
記 号	名 称
□ A	[撤去]FL40×2 吊ﾊﾞｲﾌﾞ
○ B	[撤去]FL40×1 吊ﾊﾞｲﾌﾞ
□ C	[撤去]FL40×2 直付型
○ D	[撤去]FL40×1 直付型
□ F	[撤去]FL40×1 埋込型
○ K	[撤去]ｽﾏｰﾄﾗｲﾄ
□ G	[撤去]FHD32×3 ｽｸﾏｰ7450 埋込型
○ X	[撤去]誘導灯C 天井
○ Y	[撤去]誘導灯C 壁付
○	[撤去]天井ｽﾏｰﾄ
○	[撤去]ｽﾏｰﾄ-ｶｰ壁付
○	[撤去]差動式ｽﾏｰﾄ型感知器
○	[撤去]光電式ｽﾏｰﾄ型感知器 3種
○	[撤去]扇風機 天井取付型 40形

撤去器具数量表			
器具名		記号	数量
FL40×2 吊ﾊﾞｲﾌﾞ		A	85
FL40×1 吊ﾊﾞｲﾌﾞ		B	16
FL40×2 直付型		C	14
FL40×1 直付型		D	10
FL40×1 埋込型		F	10
FHD32×3 ｽｸﾏｰ7450 埋込型		G	2
ｽﾏｰﾄﾗｲﾄ		K	2
誘導灯C 天井		X	1
誘導灯C 壁付		Y	5
ｽﾏｰﾄ-ｶｰ壁付			12
光電式ｽﾏｰﾄ型感知器 3種			3
差動式ｽﾏｰﾄ型感知器			14
天井ｽﾏｰﾄ-ｶ			6
扇風機 天井取付型 40形			24









撤去器具数量表		
器具名	記号	数量
外灯 HID200W 銅管φ=45.0m 基礎共		4
引込柱 コクリト柱 12m		1
PAS-高圧気中開閉器		1

特記なき配線は下記による。		
6kV CVT38	[撤去]6kV CVT38sq	地中 (FEP80)-露出 (GLT82)

[ 凡例 ] 特記なき記号は下記による。	
記 号	名 称
○	[撤去]引込柱 コクリト柱 12m
□	[撤去]PAS-高圧気中開閉器
⊙	[撤去]外灯 HID200W 銅管φ=45.0m 基礎共